



年

● 第10号 ●  
— 平成30年(2018) —

報

発行 2019年5月



医療法人全心会

寝屋川ひかり病院



## 2018年「病院年報」発刊にあたって

平素は地域の皆様には当院の運営にご協力賜り感謝申し上げます。

このたび2018年「病院年報」が完成しましたのでご案内させていただきます

2045年がシンギュラリティーと言われて久しいですが、それが相当早まる勢いで人工知能（AI）は進化しています。自動運転車やPepper君、アマゾンエコーなど、会話が可能な人工知能（AI）ロボットをはじめ、さまざまな分野でAIの活用が進んでいます。

この進化は、医療分野も例外ではなく、我々の医療業界もついていかねばなりません。電子カルテの導入をはじめDPCによるデータ提出のみならず、様々な基礎データの開示は必要不可欠であり、そうしたことが、全国民のビッグデータとなり、医療費の効率化、医療の進化に繋がり、医療機関においては、スタッフの業務の効率化、病院の待ち時間の短縮、患者様のニーズの充足に繋がっていきます。いくつかの病院年報においては紙媒体ではなくデジタル化されたデータ提供に比重が置かれ、ホームページからも閲覧が可能となっております。

さて、2018年4月には、医療・介護同時改定があり、オンライン診療、様々な施設・職種・医療担当者の有機的連携が評価され、改革の課題は尽きません。そうした中、2019年の当院が掲げる二文字標語は「接遇」としました。医療サービス提供に加え、より特別で丁寧な気配り、言葉遣い、態度を更に進化する目的で掲げました。昔と比べ経済的に豊かになり、物品やサービスであふれた現代では、「心」の部分に応えるサービスが重要となります。

病院では、初診・再診の方をはじめ、入院患者様とは毎日顔を合わせます。地域に親しみを持っていただけのような生身の人間ならではの、丁寧で温かい接遇を心掛け、「ここに通いたい」「安心できる」と言って戴ければと思います。一方で人工知能の良さも併せて活用し、接遇が行き届けば更に良いと考えます。

2020年東京オリンピックを控え、日本の注目度は増すばかりです。外国人就労者、外国人客への対応が必要となり、変化する周辺環境に順応し、これらを現場に落とし込み対応する事が肝要です。

最後に、当院は電子カルテ、コミュニケーションロボットをはじめとした最新の機器の取入れにより効率化を図りつつ、それらを使いこなせる人材の育成に努め、接遇の面において患者様の多様な需要に対応できるよう努力していきたいと考えますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年5月吉日

医療法人全心会

理事長 切東 喜久夫



## 目次

## 第1章 現況

1. 院内組織図	3
2. 概要	4
3. 沿革	5
4. 理念・方針・目標	6~9
5. 委員会組織図	10
6. 会議と委員会	11~18
7. 朝礼発表内容	19・20

## 第2章 各種統計

1. 外来延患者数	21
2. 科別外来患者数	21
3. 月別外来患者数	21
4. 月別科別外来数	22
5. ケアプランセンター利用者数	22
6. 訪問看護登録数	22
7. 通所リハ訪問リハ	23
8. 訪問介護件数	24
9. 入院患者数（一般急性期）	24
10. 入院患者数（療養）	24
11. 病床稼働率	24
12. 入院患者内訳	25
13. 退院患者内訳	26
14. 患者様アンケート結果	27・28
15. 救急搬送受け入れ件数	29
16. 手術件数	29
17. リハビリテーション実施数	29
18. 撮影件数	30
19. 検査件数	30
20. 輸血検査	30
21. 生理検査	30
22. 内視鏡関連検査	30
23. エコー検査	30

## 第3章 部署年間動向

1. 診療部	31
2. 看護部	32・33
3. 薬局	34
4. 放射線科	35
5. 検査科	36
6. リハビリテーション科	37
7. 栄養科	38
8. 医事課	39
9. ケアプランセンター	40
10. ヘルパーステーション	41

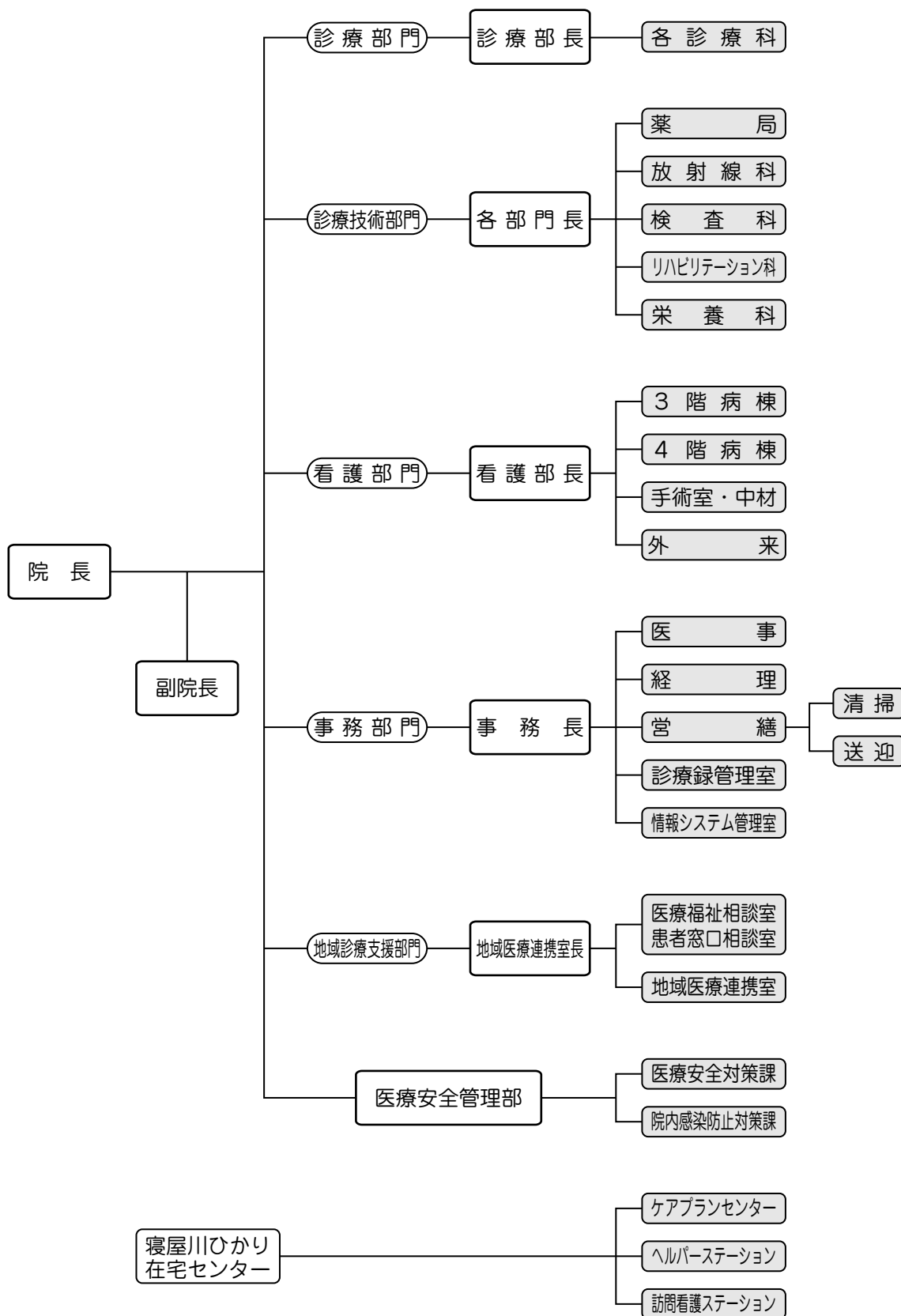
## 第4章 アクセス方法および院内図

1. アクセス	42
2. 院内図	43・44
3. 編集後記	46



# 第1章 現況

## 1. 院内組織図





2. 概 要

(1) 名 称	医療法人 全心会 寝屋川ひかり病院					
(2) 所 在 地	大阪府寝屋川市石津元町 12 番 20 号					
(3) 開 設 者	切東 喜久夫（理事長）					
(4) 管 理 者	南 尚文（院長）					
(5) 診 療 科 （ 10 科 ）	外科 整形外科 内科 消化器内科 泌尿器科 皮膚科 形成外科 放射線科 リハビリテーション科 心療内科					
(6) 病 院 種 別	一般・複合病院					
(7) 病 床 数	84 床（一般急性期 30 床・地域包括ケア 21 床・療養型 33 床）					
(8) 面 積	【敷地】 1402.10 m <sup>2</sup> / 【延床】 2755.34 m <sup>2</sup> （4 階建）					
(9) 看 護 体 系	10：1					
(10) 施 設 基 準 お よ び 届 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急性期一般入院料 6</li> <li>・療養病棟入院基本料 1</li> <li>・地域包括ケア入院医療管理料 1</li> <li>・急性期看護補助体制加算 50 対 1</li> <li>・感染防止対策加算 2</li> <li>・診療録管理体制加算 2</li> <li>・医療安全対策加算 2</li> <li>・救急搬送患者地域連携受入加算</li> <li>・後発医薬品使用体制加算 1</li> <li>・入院時食事療養（Ⅰ）</li> <li>・入院時生活療養（Ⅰ）</li> <li>・在宅時医学総合管理料及び 施設入居時等医学総合管理料</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤管理指導料</li> <li>・ニコチン依存症管理料</li> <li>・夜間休日救急搬送医学管理料</li> <li>・がん治療連携指導料</li> <li>・医科点数表第 2 章第 10 部手術の 通則の 5 及び 6 に掲げる手術</li> <li>・検体検査管理加算（Ⅰ）</li> <li>・CT 撮影及び MRI 撮影</li> <li>・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）</li> <li>・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）</li> <li>・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）</li> <li>・機能強化加算</li> <li>・在宅療養支援病院</li> <li>・オンライン診療料</li> </ul>		
(11) 指 定	二次救急告示、労災保険指定、生活保護法指定 原爆医療指定医療機関、結核予防法指定医療機関					
(12) そ の 他 認 証	ISO9001:2008 認証取得 日本医療機能評価機構認定 全館禁煙宣言医療機関					
(13) 職 員 数 （職員名簿でサー バー内検索）	医 師	6	臨 床 検 査 技 師	2	相 談 員	3
	看 護 師	29	理 学 療 法 士	8	事 務 員	10
	准 看 護 師	11	歯 科 衛 生 士	1	営 繕	9
	ケ ア ワ ー カ ー	16	管 理 栄 養 士	3	在 宅	7
	薬 剤 師	3	栄 養 士	0	そ の 他	2
	放 射 線 技 師	2	調 理 師	2		



### 3. 沿革

平成元年 12月	寝屋川ひかり病院開設 初代院長 切東喜久夫
平成10年 10月	MRI 棟増設
平成14年 7月	リハビリ室、2階、3階、4階の増改築
平成14年 8月	4階に療養病床設置
平成16年 10月	救急外来室など増築、診察室改築
平成17年 5月	全館禁煙実施
平成17年 8月	ISO9001：2000 取得
平成19年 5月	医療法人化、医療法人全心会寝屋川ひかり病院となる 理事長兼院長 切東喜久夫
平成20年 2月	新院長 南尚文就任
平成21年 9月	寝屋川ひかりケアプランセンター併設
平成21年 11月	敷地内全面禁煙実施
平成21年 11月	通所リハビリテーション開設
平成22年 4月	ISO9001：2008 へ更新
平成22年 6月	3階に亜急性期病床設置
平成22年 7月	日本医療機能評価機構認定病院となる
平成23年 3月	0.4 テスラ常伝導 MRI へ、16 列 CT へ装置更新
平成23年 4月	託児所キッズひかり開設
平成24年 4月	3階亜急性期病床を3床増床
平成24年 11月	ICTの推進（看護支援システム「BEAR-LIGHT」や勤怠システム導入）
平成25年 1月	在宅センター開設（ヘルパーステーション新規開設、ケアプランセンター移転）
平成25年 12月	地域医療連携室の体制強化
平成26年 4月	通所リハビリ室の改装
平成26年 8月	亜急性期病床13床を地域包括ケア病床へ転換
平成26年 9月	整形外科及びびオペ体制の再構築
平成26年 10月	院外処方へ移行
平成27年 10月	病院機能評価（3rdG:Ver1.1）を受診、日本医療機能評価機構認定を更新
平成27年 12月	地域包括ケア病床を8床増床（13床→21床）
平成28年 3月	医事システムを更新 院内照明のLED化
平成28年 4月	ISO9001：2015 へ更新
平成28年 9月	オーダーリングと病棟看護支援システムを導入
平成29年 9月	A I ロボット ペッパー君の導入
平成29年 10月	64 列マルチ CT 「Supria Gurande」 導入
平成30年 3月	東芝電子カルテシステム導入
平成30年 7月	電子カルテ往診システム開始
平成30年 11月	寝屋川ひかり訪問看護ステーション開設





#### 4. 理 念 や 方 針

### 理 念 .....

- ① ひかり輝く心身であれ
- ② 患者様の立場になって考えよ
- ③ 責任を持って行動せよ



### 運営方針 .....

#### 1. 相互理解

医療と看護を受ける側・提供する側の相互理解を深め、患者さま本位の医療と看護を提供します。

#### 2. 高質安全

常に時代に即応した高質で安全な医療と看護を提供します。

#### 3. 地域貢献

地域住民の方の救急医療及び健康増進に貢献します。

#### 4. 医療連携

他の医療機関、介護施設との連携を図り、健康と福祉を支援します。

#### 5. 品質改善

医療サービスにおける品質マネジメントシステムに適合し、その有効性の継続的改善を図ります。



## 患者様の権利 .....

### 1. 平等な医療

公平に、適切でかつ良質な医療を受ける権利があります。

### 2. 個人の尊厳

尊厳ある個人として、その生命・身体・人格が尊重されます。

### 3. 自己決定権

説明を十分に受けた後、その検査法、診断、治療法に対して自由に選択、決定する権利があります。

### 4. セカンドオピニオン

医師や医療機関を自由に選ぶ権利があり、また別の医師の意見を求める権利があります。

### 5. 個人情報の保護

診療上の個人情報を守られる権利があります。

### 6. 医療の情報開示

ご自分の症状や医療の内容に関して、必要な情報を求める権利があります。

## 患者様の責務 .....

### 1. 情報提供

適切かつ迅速な医療を受けるために、自らの身体状況等、必要とされる情報を可能な限り、正確かつ迅速に医療提供者に伝える責務があります。

### 2. 時間的協力

医療提供者から十分な情報提供を受けるために、本人及びご家族の時間的協力が必要です。

### 3. 意思表示

医療提供者から十分な医療情報の説明を受けた上で、診断・治療方針の決定について、自らの意思を明らかにする必要があります。

### 4. 医療・療養環境

全ての患者様が適切な医療を受けられるように、患者様相互のより良い医療・療養環境に配慮する必要があります。





..... 2019年 病院標語 .....

二文字標語

「**接遇**」

- ① 働き方改革の実践（有給休暇と残業）
- ② HACCP取得
- ③ 多様性社会への順応
- ④ 在宅診療看護介護の拡充
- ⑤ 病院機能評価更新準備
- ⑥ 委員会か、クラブに所属





..... 2018年 病院標語 .....

二文字標語

「AI」

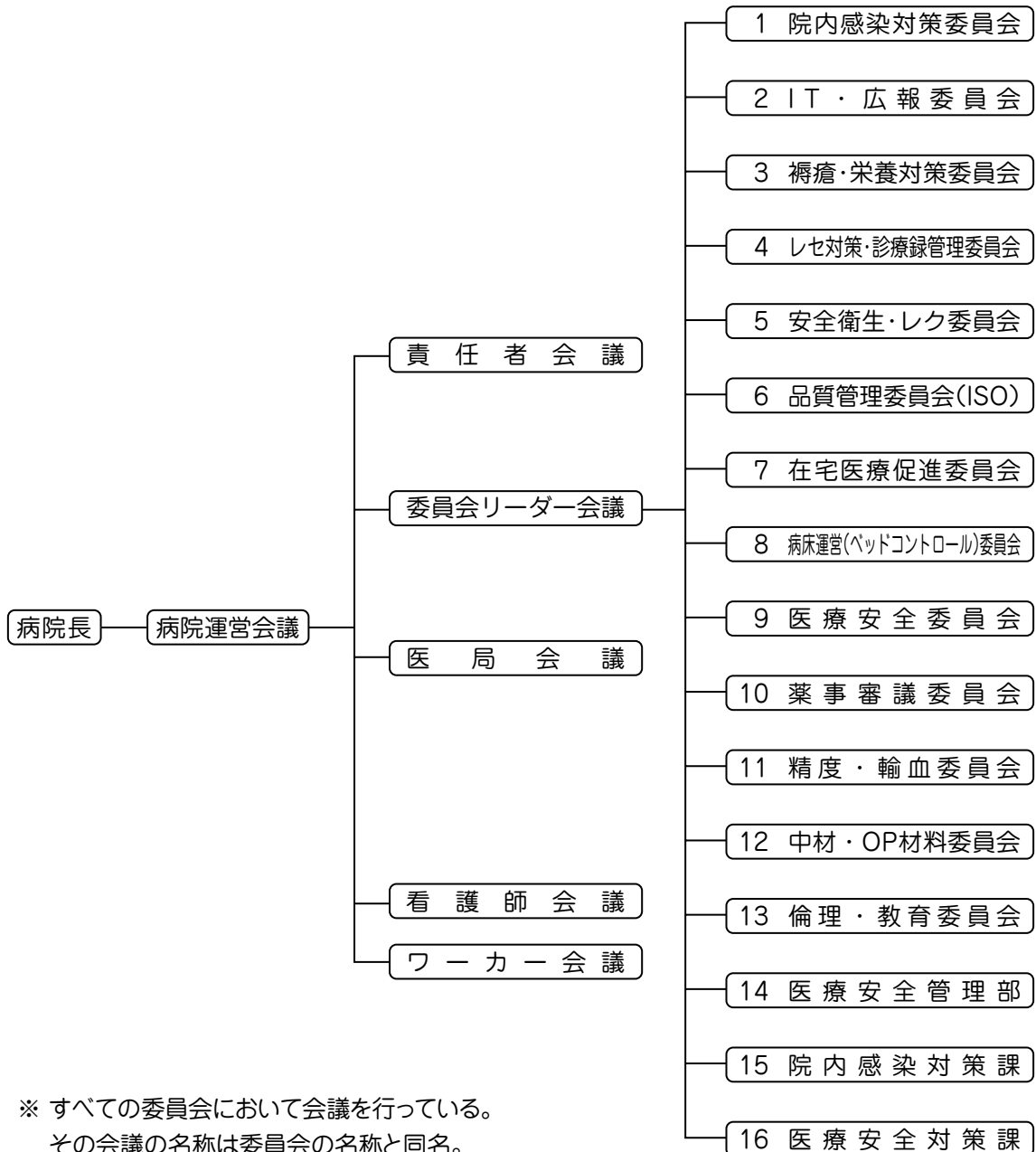
- ① AI等を活用し不便を便利に
- ② 電カルの有効活用
- ③ 各部署独自の数値目標設定
- ④ BCP作成
- ⑤ 医療安全管理部及び院内感染対策課の創設
- ⑥ 医療・介護同時改定への対応
- ⑦ 個人のSWOT分析

過去の二文字標語

平成 30 年	A	I
29 年	有	機
28 年	地	域
27 年	承	認
26 年	徹	底
25 年	育	成
24 年	一	歩
23 年	即	行
22 年	幸	運
21 年	不	撓
20 年	立	場
19 年	挨拶	と感動
18 年	限	界
17 年	公	開
16 年	予	知
15 年	感	謝
14 年	変	化



## 5. 委員会組織図



※ すべての委員会において会議を行っている。  
その会議の名称は委員会の名称と同名。  
また、上記に含まない部署内の会議もある。



## 6. 会議と委員会

名 称	機 能
病 院 運 営 会 議	<p>病院に関する様々な報告事項や、業務運営や経営に関する事項を検討し、その効果的な推進を図り、各部署に働きかけを行います。</p> <p>平成 30 年は電子カルテの円滑導入、患者様の満足度向上、在宅部門の連携体制の強化などに尽力してきました。</p>
責 任 者 会 議	<p>部署間の情報伝達を円滑にし、部門横断的な病院運営ができることを目的としています。</p> <p>平成 30 年も引き続き、日常業務の改善、各種統計データの情報共有等を行いました。電子カルテの稼働開始にあたっては各部署の体制についてすり合わせ・情報共有を行い、円滑な稼働に向け検討を重ねました。</p>
医 局 会 議	<p>医局カンファレンスを中心に、様々な症例検討を行なっております。</p> <p>また、医療サービスの向上のための話し合いも兼ねており、院内に関する多職種での意見交換も行なっております。</p> <p>平成 30 年も昨年に続き在宅復帰率の向上を重視し、病院がチーム一丸となり医師・看護師・リハビリ・在宅部門・MSWの連携による包括的な退院支援に向け、細やかな情報共有を行う場としました。</p>
委員会リーダー会議	<p>全委員会の報告および検討を行なうことと、委員会間の円滑な情報伝達を目的としています。</p> <p>平成 31 年も引き続き各委員会の活動報告を通じ、病院全体の連携向上を図って参ります。</p>
看 護 師 会 議	<p>3 階・4 階・外来・中材・OP・訪問看護部門、それぞれの情報伝達・職員のケアを目的とし、患者様への親しみのある看護の提供を目指します。</p> <p>IT 化に伴う各部署間の連携強化、患者様の満足度向上に向けて一同尽力して参ります。</p>
ワ ー カ ー 会 議	<p>医療ソーシャルワーカーをはじめ、退院支援に関わる職員の情報共有の場として活用し、院内での各部署同士の連携強化を図ります。</p> <p>地域の施設、医療機関との情報交換をスムーズに行い、地域ネットワーク型の医療連携を効率よく発揮できるように話し合いをしていきたいと思います。</p>



名 称	機 能
1. 院内感染対策委員会	<p>1. 委員会の内容および趣旨</p> <p>院内感染予防対策及び教育 感染防止に対する啓蒙 寝屋川ひかり病院に適切なマニュアル作り サーベイランス網の確立 院内感染ラウンドの実施と改善策の立案実施 環境調査（汚染実態の調査） 接触感染防止対策の指標調査（手指消毒薬・ティスポ手袋・エプロンの使用量調査） 医療安全管理部による 院内感染対策・医療安全管理の統合管理</p> <p>2. 2018年度の活動の簡単なまとめ</p> <p>①地域連携感染症カンファレンスに参加し当院感染対策の有効性の確認と周辺地域に於ける耐性菌検出状況の検討を行う。 ②例年通り職員向け院内感染対策勉強会を開催し、手洗い実習・OP室パームチェックを行う。 ③接触感染防止対策指標調査（手指消毒薬に加え、ティスポ手袋・エプロン使用量調査を開始） ④院内感染対策ラウンド調査部門に外来（救急外来・カメラ室・診察室・点滴室）追加。 ⑤インフルエンザ、ノロウイルス流行期や結核、疥癬発症時、感染対策委員会の指導の基に、ICTが中心的活動行う。（職員指導・行政対応等） ⑥院内感染対策課の創設</p> <p>3. 2019年度の目標</p> <p>①マンパワー確保とリンクナースの常設 ②院内感染予防対策及び教育強化 ③手指消毒の周知徹底 ④耐性菌の水平伝播例の撲滅（特にESBL産生菌やCRE、MRSA） ⑤関連介護施設との連携強化（感染対策講義の定例化） ⑥抗菌薬サーベイランス時の意見交換の活発化 ⑦院内感染対策課と院内感染対策委員会の連携運営の効率化</p>



名 称	機 能
2. IT・広報委員会	<p>1. 委員会の内容および趣旨 IT 部門では、IT を利用した日常業務の連携と円滑化を推進し、情報技術などの向上を目指し、パソコンなどによる院内ネットワークの確立を目指しております。また、パソコン機器類に関するトラブルへの対応や、職員個々のパソコンのスキルアップにも協力しています。 広報部門では、広報誌、病院年報の制作を行っております。</p> <p>2. 2018 年の活動の簡単なまとめ 2018 年は、昨年に引き続き、地域に向けた広報活動を行っております。 IT 部門では、幅広く IT を活用し、ホームページや、デジタルフォトフレームを利用して、病院の情報を発信しておりました。また、発信している情報を管理し、更新を行っております。また、院内機器のパスワードの管理などにも取り組んでおりました。 広報部門では、年 4 回（季刊）の広報誌「寝屋川ひかりだより」や病院年報の発行を実施しており、記載する内容に関してのディスカッションの場としても活用しておりました。</p> <p>3. 2019 年の目標 2019 年は、IT 部門・広報部門ともにスタッフの育成に力を入れ様々な IT 機器に対応でき、バグなどの問題をスムーズに解決できるようなスキルアップが出来れば良いと考えております。加えて、より分かりやすく充実した、皆様の手に取っていただけるような内容の広報作成などその他広報活動に力を入れてまいりたいと思います。</p>
3. 褥瘡・栄養対策委員会	<p>1. 委員会の内容および趣旨 食事内容の充実、衛生管理、配膳に関する事柄のチェック、厨房機器・食器などの検討を主な活動内容としています。また管理栄養士が毎回患者様に対しての議題を持ち出し、その議題について診療部、看護部およびその他部門と話し合いを行っております。栄養指導件数の報告や行事食の予定、嗜好調査の結果などもあわせて行っております。また栄養状態により褥瘡が発生しやすい患者様などに考慮して食事を提供していただけるように、褥瘡の発生リスクや、すでに発生してしまっている患者様などの対応に関する情報共有の場としています。</p> <p>2. 2018 年の活動の簡単なまとめ 褥瘡に対する勉強会を開催したり、災害が多かったこともあり栄養科での災害時の対策について話し合いを行いました。また、患者様の嚥食状況やアルブミン値から今後の食事の方針などの検討を行いました。（プロテインを食事に導入・補助食の追加・形態の変更など）</p> <p>3. 2019 年の目標 患者様一人一人に適切な栄養管理を行っていきます。電子カルテを通じて情報共有がしやすくなったため、嚥食状況などを細かくチェックし栄養科よりアプローチを行っていきたいと思います。また、栄養状態の把握を行い、褥瘡の発生リスクを回避できるように努めてまいります。</p>



名 称	機 能
4.レセ対策・診療録管理委員会	<p>1. 委員会の内容および趣旨 毎年、診療録管理体制の強化のため、診療情報管理士の育成に取り組んでおります。診療報酬のスムーズな請求や返戻・減点の削減をめざし、統計資料の作成とそれらの原因究明を行い、先生方や各部署への啓蒙活動を行っています。</p> <p>2.2018年の活動の簡単なまとめ 電子カルテの導入により、医事会計システムと繋がり入力がスムーズになりました。患者情報の登録ミスや算定漏れなど人的要因によるミスのないようにカルテの確認に努めました。その他、データ提出加算におけるデータの収集と活用、適切なコーディング、退院サマリーの作成確認も実施致しました。</p> <p>3.2019年の目標 スタッフ教育体制を強化し、返戻率・減点率のさらなる減少に向け、事案の統計資料の作成、啓蒙活動の強化にあたります。また、データ提出業務、がん登録業務のスムーズな実施を目指し体制を強化していきたいと思っております。</p>
5.安全衛生・レク委員会	<p>1. 委員会の内容および趣旨 趣旨といたしまして、安全衛生部門では、労働環境の改善、労働安全の確保、職員の健康維持増進を目的に、レイアウト変更等の勧告実施等を主旨としております。レクリエーション部門では各年度における職員の慰安旅行と、年末におこなわれるひかりメディカルグループ（以下HMG）大忘年会の企画・進行が主になります。</p> <p>2.2018年の活動の簡単なまとめ 5月の慰安旅行では職員の参加の有無、行先の考慮 出欠の有無、旅行会社とのやり取りなどの企画を各部署と連携し集約、実施致しました。大忘年会では出欠の有無、出し物等の段取りを集約し、計画的に実施致しました。院外駐車場周辺の草むしりを計画し道具などを取りそろえ実施するなど、院内外での安全で働きやすい職場環境作りを整理することに努めました。</p> <p>3.2019年の目標 HMG 大忘年会について2019年12月は幹事をする事になっております。滞りなく進行ができるように準備していきます。慰安旅行では、ハワイ旅行と日帰り旅行を実施します。いずれも事前に計画に取組み、各部署と連携し企画・進行に努めたいと思っております。</p>



名 称	機 能
6. 品質管理委員会(ISO)	<p>1. 委員会の内容および趣旨 医療・介護の質の向上と安全性の確保、運営基盤の確立を目的とします。当院では、ISO9001:20015 を取得、また、病院機能評価の質の維持も兼ねて、年に 2 回の内部監査も実施しております。</p> <p>2.2018 年の活動の簡単なまとめ 2018 年は例年通り、段階的な目標実現に向け全部署でクリニカルラダーを運用し職員の技術の習得レベルなどを評価しております。また、各部署のインシデント・アクシデントデータに基づいた集約データを作成し、失敗から学び成長できるよう PDCA サイクルに基づいた業務改善を行い内部監査にて評価・確認しております。</p> <p>3.2019 年の目標 2019 年は ISO 規格に沿ったサービス品質の向上を主な目標に掲げ、部署ごとに SWOT 分析を実施するなどして更なる院内体制の整備に向け積極的に活動して参ります。</p>
7. 在宅医療促進委員会	<p>1. 委員会の内容および趣旨 在宅医療促進委員会では、自宅・施設などでの在宅生活に支援が必要だと思われる患者様に対して、在宅サービスの情報提供や必要なサービスの検討を行っていただけるように、各部署と連携しながら情報共有の場としております。</p> <p>2.2018 年の活動の簡単なまとめ 2018 年度は電子カルテ導入後、在宅復帰に向け関係部署間の情報共有等をよりスムーズに行える環境が整備されました。当委員会では地域包括ケア病棟を活用しながらリハビリテーションを行っている患者様や、在宅復帰などをご検討されているご家族様への連絡等、情報提供等、退院までの各段階において多職種が連携してスムーズな在宅復帰を支援して参りました。</p> <p>3.2019 年の目標 本年も引き続き在宅復帰率 70% 以上の維持を目標に、積極的な退院支援を行って参ります。</p>
8. 病床運営(ベッドコントロール)委員会	<p>1. 委員会の内容および趣旨 入院のタイミングと退院のタイミングを調節できるよう尽力いたします。患者様の転院・退院に向けてより良い環境選択をサポートしていただけるようメンバー一同努力しております。また、より多くの患者様のお受け入れが出来るよう、病床を整理し病床稼働率の上昇をめざしております。</p> <p>2.2018 年の活動の簡単なまとめ 患者様、患者様家族のご希望、現場との兼ね合いを考慮し退院先の調節・連携に努める情報共有の場としてまいりました。</p> <p>3.2019 年の目標 救急受入れ件数の上昇に努め、病床の稼働率を上昇させたいと思います。また退院時は患者様の希望に寄り添えるよう様々な意見に耳を傾け、ご希望に寄り添えるよう考えていければと思っております。</p>





名 称	機 能
9. 医 療 安 全 委 員 会	<p>1. 委員会の内容および趣旨 医療安全管理委員会の開催・運営 是正処置・予防処置報告書（インシデント・アクシデント報告事例）の分析・改善策の協議管理 医療安全管理マニュアルの整備 病院職員への教育・研修活動 医療安全管理ラウンドの実施 患者様相談窓口</p> <p>2. 2018年の活動の簡単なまとめ ① 是正処置・予防処置報告書（インシデント・アクシデント報告事例）の分析・改善策の協議管理。 → 2018年度インシ・アクシ報告総数 154 件（インシ 130 件アクシ 24 件）となる。 ② 離床センサーを複数導入と看護科業務見直しの効果で転倒・転落、誤投薬が減少した。 ③ ISO9001（2015版）への移行。当院医療安全管理対策について検討改善行う。 ④ 病院職員への教育・研修活動を定期的実施した。 ⑤ 医療安全管理部創設により医療安全・感染対策を統合管理。 ⑥ 医療安全対策課を設置した。</p> <p>3. 2019年の目標 ① マンパワー確保とリンクナース常設 ② 転倒転落による骨折事故防止、誤投薬防止、ハイリスク薬管理対策の強化 ③ 機能評価 3rdG:Ver2.0 の継続認証 ④ 是正処置・予防処置報告書（インシデント・アクシデント報告事例）の提出数を増やす。 ※特に予防処置を増やす様に周知徹底 ⑤ 病院職員への効果的な教育・研修活動 ⑥ 医療安全管理部、医療安全対策課を設置し運営管理行う。</p>
10. 薬 事 審 議 委 員 会	<p>1. 委員会の内容および趣旨 医薬品の新規採用と採用停止、医薬品の安全使用と経済性の考察、在庫医薬品の使用効率化、薬事にかかる医療安全対策を活動としています。</p> <p>2. 2018年の活動の簡単なまとめ 2018年は、薬価改定に伴い後発医薬品整備を充実し、高品質かつ信頼性の高いジェネリックメーカー採用の統一に向けて進めてまいりました。</p> <p>3. 2019年の目標 2019年は、薬剤の安全使用に特化した医薬品採用の選定を推進し、安全かつ適正な臨床治療が行えるよう医薬品管理を推し進めてまいります。</p>



名 称	機 能
11. 精度・輸血委員会	<p>1. 委員会の内容および趣旨</p> <p>精度管理部門では臨床検査全般に関する精度・技術の向上のために、日々改善の意識を持って業務に当たっています。</p> <p>新規及び現行の検査項目について比較検討・導入検討の実施や臨床側への情報提供、日々の内部精度管理実施に加え各種外部精度管理調査（日本医師会サーベイ、各試薬メーカーサーベイ）への参加などを主な活動内容としています。</p> <p>輸血管理部門では、輸血療法に関する指針に沿った血液製剤の適正使用の推進、輸血療法マニュアルの改訂、月刊及び年間の血液製剤使用量の報告による血液製剤廃棄ゼロへ向けての意識向上。輸血副作用及とりスクマネジメントの分析、輸血情報の案内と最新知見の紹介を主な活動としております。</p> <p>2. 2018年の活動の簡単なまとめ</p> <p>精度管理部門では2018年度については導入された院内電子カルテ化に対応すべく検査システムの変更や各種検査のデータのデジタルデータ化への検討・実施を行い、業務の効率化を図りました。又、新しい検体検査の精度管理に関する法律に対応すべく業務内容を見直し検討・実施を開始しました。</p> <p>輸血管理部門では2018年度は感度の高いゲルカラム法で輸血検査を実施することにより、安心・安全な輸血療法を提供しています。又、輸血療法を実施された患者様については輸血後感染症検査の必要性を説明し、案内を送付して外来受診を促しています。</p> <p>3. 2019年の目標</p> <p>精度管理部門では2019年度についても検体検査の精度管理に関する業務に関して日々改善を重ねより良いものにしていきます。又、生理検査に関して可能な限りデータをデジタル化し管理を容易にしたり電子カルテからの閲覧を可能するなど業務の効率化を図っていきたくと考えています。</p> <p>輸血管理部門では2019年については輸血システムの本格稼働により、輸血療法に関する業務全般の効率化をし、リスク管理及び蓄積されたデータを有効活用する事で患者様により良い輸血療法を受けて頂ける様、日々業務を行ってまいります。</p>



名 称	機 能
12. 中材・OP 材料委員会	<p>1. 委員会の内容および趣旨 安全かつ品質に優れ、経済性を考慮した医療材料の提供を目的としています。患者様に提供する上で、安全性の高い医療材料また、各部署スタッフが、使用しやすい医療材料、経済性を考慮し活動しております。各部署より、提出された稟議書にも基づき物品購入採用の可決、使用中の材料に関して使用期限の確認、使用頻度の少ない材料の維持管理の必要性および、価格の検討などを行っております。また、各部署の配管、アウトレットの管理状況の確認、医療ガスの保守点検の状況確認、酸素ポンベの管理などを活動とし、医療ガスに関する安全な管理を行うことを目的としております。</p> <p>2.2018 年の活動の簡単なまとめ 2018 年は保守点検を行いま整備を行っております。また、在宅へ退院され酸素の必要な患者様へ、HOT の利用提供も随時行っております。</p> <p>3.2019 年の目標 定期的に全職員対象に勉強会を実施するなどし、酸素ポンベの取り扱い方、中央配管・ガス・ポンベ室等の構造や管理について、知識の共有を行い、職員の医療ガスに対する理解を深めるため研修を開催していきたいと思っております。</p>
13. 倫理・教育委員会	<p>1. 委員会の内容および趣旨 院内研修計画を立案し、看護部及び、全職員対象とし意識向上に努めます。院内研修では、医療安全、感染対策に力をいれております。 教育部門では、スタッフのスキルアップに努め、全体・個人の研修の推進と効果の評価等を行っております。</p> <p>2.2018 年の活動の簡単なまとめ 2018 年は年間教育計画を立案し、院内・院外共に個人のスキルに合わせた研修に参加し、医療安全・院内感染の研修も定期的に行っておりました。また、院外研修では個々のスタッフが認知症研修、退院支援研修等の当院で実施できる研修へ積極的に参加してまいりました。</p> <p>3.2019 年の目標 2019 年も、認知症研修、看護必要度研修等の外部研修に参加し、院内での伝達講習を開催し職員全体の意識の向上に努めていきます。また、院内の倫理的問題になりやすい事柄を収集し検討することを目的とした、全職員対象の勉強会を実施し、倫理や患者様の義務と権利について学びを深め、一人一人の患者様に対する配慮を行うことでより良いサービスを提供することを目指します。</p>



## ■ 朝礼発表内容

寝屋川ひかり病院では、毎週木曜日に全体朝礼を実施しております。

理事長や院長を始めとし、幹部ならびに各部署責任者および一般職員の円滑なコミュニケーションの場であると共に、教育や発表の場としても役立てております。

下記と次ページに、平成30年のパワーポイントによる発表の内容を一覧にしてみました。

H 30 上期	発 表 内 容
1 月 4 日	H30 年新年のご挨拶、各部署対応件数報告（一週間ごと）
1 月 11 日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、H29 年 12 月管理報告
1 月 18 日	新入職員紹介、各部署対応件数報告（一週間ごと）、H29 年 12 月アンケート集計報告
1 月 25 日	東芝電子カルテシステム導入の進捗報告、各部署対応件数報告（一週間ごと）
2 月 1 日	ISO 上期目標発表（診療部・リハビリ）、各部署対応件数報告（一週間ごと）
2 月 8 日	新入職員紹介、H30 年 1 月管理報告、各部署対応件数報告（一週間ごと）
2 月 15 日	ISO 上期目標発表（ケアプラン・ヘルパー）、各部署対応件数報告（一週間ごと）
2 月 22 日	ISO 上期目標発表（薬局・放射線・検査科）、各部署対応件数報告（一週間ごと）
3 月 1 日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、インシデント・アクシデント月別集計、診療報酬改定のポイント
3 月 8 日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、H30 年 2 月管理報告
3 月 15 日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、新入職員紹介、診療報酬改定のポイント
3 月 22 日	ISO 上期目標発表（医事課・栄養科）、各部署対応件数報告（一週間ごと）、新入職員紹介
3 月 29 日	H30 年 2 月アンケート集計報告、各部署対応件数報告（一週間ごと）
4 月 5 日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、新入職員紹介、インシデント・アクシデント月別集計、H30 年 3 月管理報告
4 月 12 日	健康診断の種類について、各部署対応件数報告（一週間ごと）
4 月 19 日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、H30 年 3 月アンケート集計報告
4 月 26 日	H30 年 ISO 維持審査の日程について、各部署対応件数報告（一週間ごと）
5 月 10 日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、新入職員紹介、インシデント・アクシデント月別集計、H30 年 4 月管理報告
5 月 17 日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、H30 年 4 月アンケート集計報告、H30. 健康診断のお知らせ
5 月 24 日	院内感染対策勉強会のご案内、各部署対応件数報告（一週間ごと）、栄養科嗜好調査
5 月 31 日	医療安全管理に関する勉強会のご案内、各部署対応件数報告（一週間ごと）、H30 年 .ISO 維持審査のスケジュールについて
6 月 7 日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、新入職員紹介、インシデント・アクシデント月別集計 H30 年 5 月管理報告
6 月 14 日	防災訓練の報告、各部署・委員会の情報共有
6 月 21 日	慰安旅行のまとめについて、生化学自動分析装置の定期点検について、院内感染対策勉強会について、各部署対応件数報告（一週間ごと）、大阪北部地震と防災マニュアルについて
6 月 28 日	医療安全対策勉強会のご案内、各部署対応件数報告（一週間ごと）、H30 年内部監査報告



### ■全体朝礼の流れ■

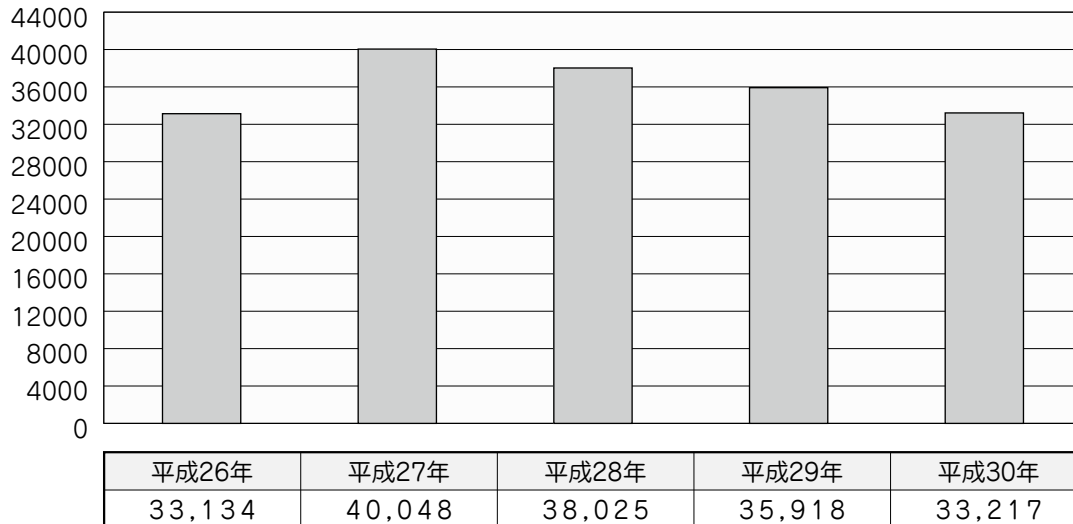
1. 理事長による挨拶
2. 院長および幹部による挨拶
3. 各部署および各委員会より連絡事項
4. 職員挨拶・理念唱和（※持ち回り制）
5. パワーポイント発表（※下記表の通り）
6. 新入職員紹介、次回予定発表

H 30 下期	発表内容
7月5日	新入職員紹介、各部署対応件数報告（一週間ごと）、インシデント・アクシデント月別集計、往診用電子カルテについて、接遇対応についての勉強会のご案内
7月12日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、往診用電子カルテについて②、H30年会計待ち時間調査報告、リハビリテーション実技研修報告
7月19日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、近隣介護施設の紹介、H30年6月アンケート集計報告
7月26日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、近隣介護施設の紹介、院内感染対策に関する勉強会、H30年保健所立ち入り検査について
8月2日	新入職員紹介、各部署対応件数報告（一週間ごと）、
8月9日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、オンライン診療について、H30年7月アンケート集計報告
8月16日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、訪問診療・看護件数報告（月別）、H30年ISO下期目標発表（診療部・看護部）
8月23日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、H30年ISO下期目標発表（検査科・放射線科・薬局・ヘルパー）
8月30日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、医療安全対策に関する勉強会のご案内、H30年ISO下期目標発表（リハビリ科・栄養科・ケアプラン・医事課）
9月6日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、訪問診療・看護件数（月別）、インシデント・アクシデント月別集計、H30年8月管理報告
9月13日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、H30年8月アンケート集計報告
9月20日	新入職員紹介、各部署対応件数報告（一週間ごと）、院内感染対策に関する勉強会のご案内、台風21号被害と対策
9月27日	新入職員紹介、各部署対応件数報告（一週間ごと）、認知症ケア加算について
10月4日	新入職員紹介、各部署対応件数報告（一週間ごと）、インシデント・アクシデント月別集計、H30年9月管理報告
10月11日	新入職員紹介、各部署対応件数報告（一週間ごと）、院内感染対策に関する勉強会のご案内、H30年9月アンケート集計報告
10月18日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、医療安全に関する勉強会のご案内、オンライン診療について
10月25日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、超音波診断装置導入について
11月1日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、インシデント・アクシデント月別集計、訪問看護ステーションについて
11月8日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、H30年10月管理報告
11月15日	新入職員紹介、各部署対応件数報告（一週間ごと）、H30年10月アンケート集計報告
11月22日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、2019年内部監査について
11月29日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、院内感染対策に関する勉強会のご案内、H30年11月嗜好調査について（栄養科）
12月6日	新入職員紹介、各部署対応件数報告（一週間ごと）、訪問診療・看護件数報告（月別）、インシデント・アクシデント月別集計、H30年11月管理報告
12月13日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、H30年11月アンケート集計報告
12月20日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、H30年防災訓練について
12月27日	各部署対応件数報告（一週間ごと）、年末年始の予定について

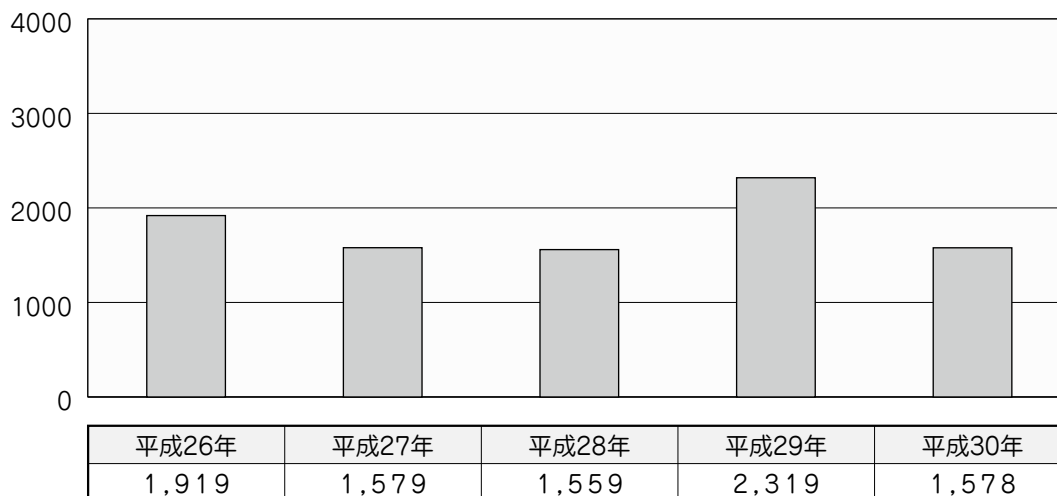


## 第2章 各種統計

### 【外来 延患者数】



### 【外来 新患者数】



### 【科別 外来数(年別)】

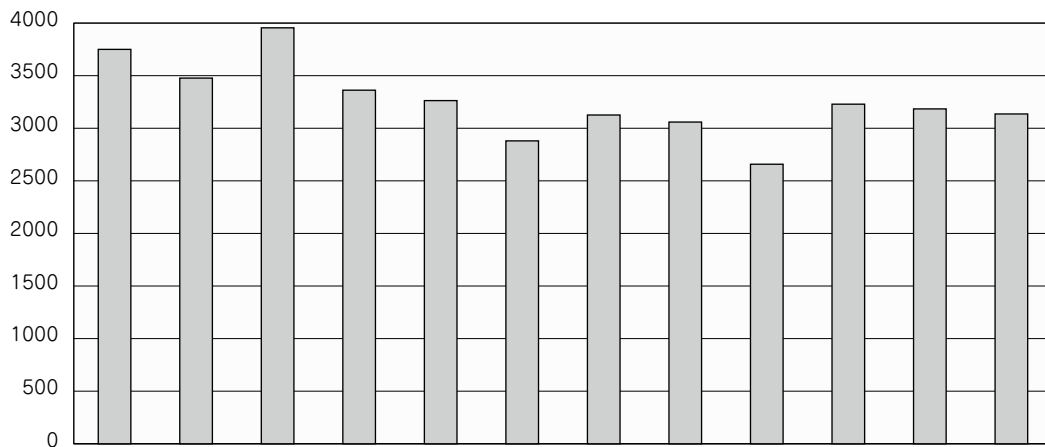
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
内 科	17,527	16,936	16,071	14,969	12,974
外 科	8,326	13,512	11,168	9,624	10,024
整形外科	5,791	8,223	8,951	9,929	8,604
皮 膚 科	895	857	752	794	641
泌尿器科	305	341	404	375	352
形成外科	290	179	230	222	197



【科別 外来数(月別)】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
内科	1,559	1,240	1,244	1,031	1,084	993	982	1,007	850	1,045	949	990
外科	836	813	1,044	896	795	712	861	810	757	851	803	846
整形	741	739	877	741	723	648	682	639	567	745	784	718
皮膚	53	59	50	55	55	58	55	69	34	46	65	42
泌尿器科	26	31	29	17	48	33	30	30	23	39	25	21
形成外科	13	11	37	28	17	11	13	21	4	13	16	13
リハビリ	522	584	674	594	534	425	503	483	412	490	539	506

【外来 延患者数(月別)】

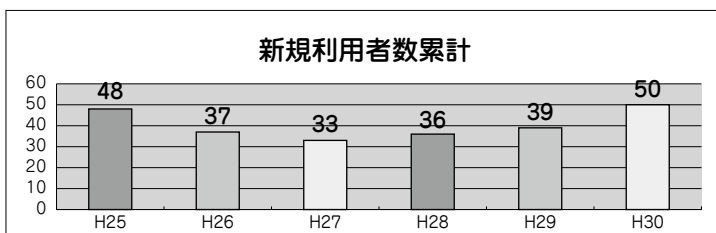


1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
3,750	3,477	3,955	3,362	3,263	2,880	3,126	3,059	2,658	3,229	3,184	3,136

【ケアプランセンター利用者数】

新規利用者紹介元集計(平成29年～平成30年)

	平成29年												平成30年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
地域包括支援センター	1	2					4	2		2	1	1	1					1	4	2	2	1	4	2	30
他事業所						1	1		1		1														4
他病院			2	1		1			1										1						6
利用者様自身の縁故	2	1											2	1	1	5	1		1	1	1			16	
入院					1	3	1		1	1	2	2				3		1	1	4	4		1	3	28
外来					1				1							2									4
合計	3	3	2	1	2	5	6	2	4	3	4	3	2	2	3	8	1	2	7	7	7	1	5	5	88
中止	5	17	13	0	5	3	0	7	1	1	0	0	0	1	3	3	4	2	3	3	0	3	1	0	75

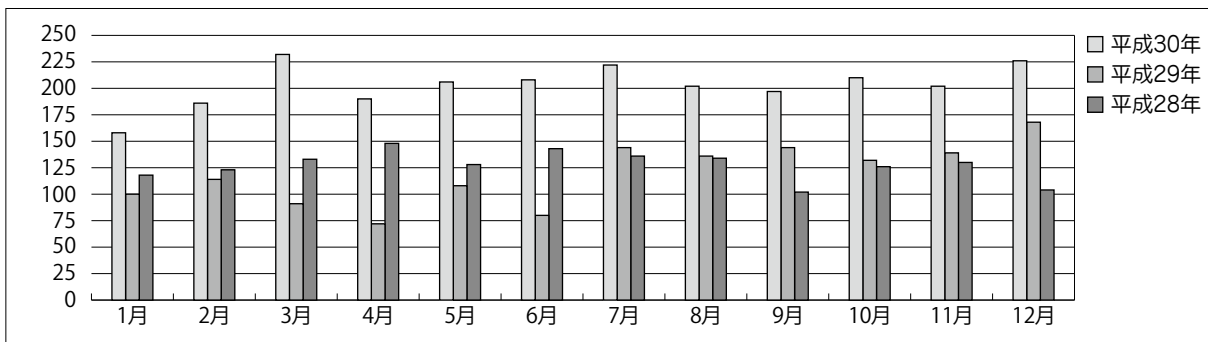


	H25	H26	H27	H28	H29	H30
新規利用者累計	48	37	33	36	38	50

新規利用者累計	88
中止された方	75
現在の利用者	115

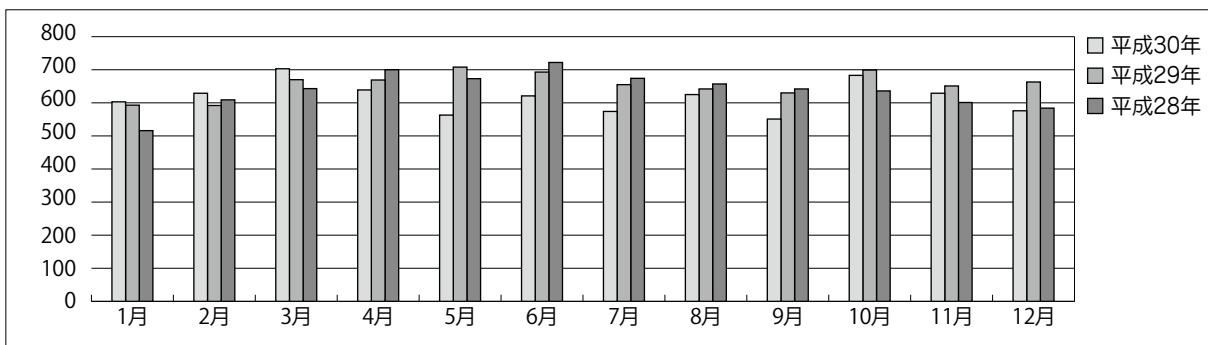


### 【訪問リハビリテーション】



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成30年	158	186	232	190	206	208	222	202	197	210	202	226	2,439
平成29年	100	114	91	72	108	80	144	136	144	132	139	168	1,428
平成28年	118	123	133	148	128	143	136	134	102	126	130	104	1,525

### 【通所リハビリテーション】



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成30年	603	629	703	639	563	621	574	625	551	683	629	576	7,396
平成29年	593	592	670	669	708	693	655	642	630	699	651	663	7,865
平成28年	516	609	643	700	673	722	674	657	642	636	601	574	7,657

### 【訪問看護登録数】

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
契約者数	46	23	21	23	39

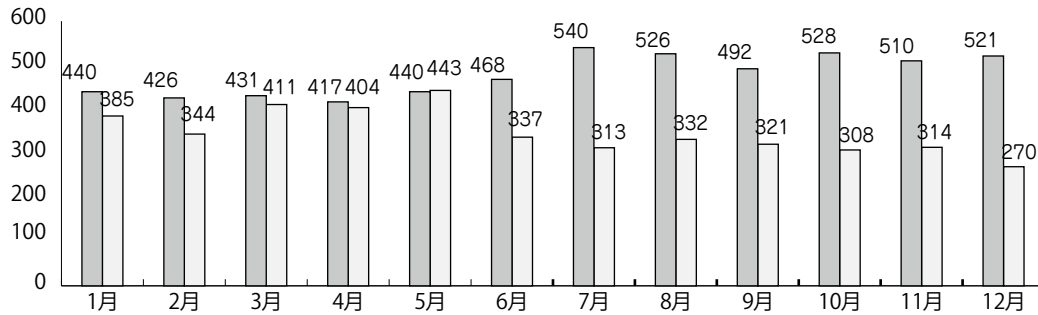




**【訪問介護件数】**

平成29年度 累計	5,739	平成30年度 累計	4,182
-----------	-------	-----------	-------

平成30年と29年の月別利用者数比較



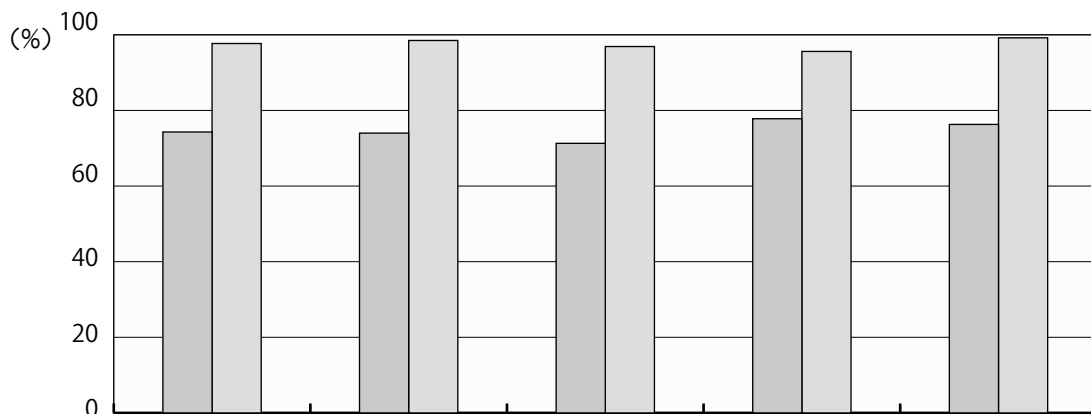
**【入院患者数(一般急性期)】**

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
延べ患者数	13,839	13,783	13,281	14,478	14,194
新入院	619	683	611	678	643

**【入院患者数(療養病床)】**

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
延べ患者数	11,767	11,859	11,672	11,512	11,951
新入院	2	0	0	0	0

**【病床稼働率】**



稼働率	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
3F病棟	74.3	74.0	71.3	77.8	76.3
4F病棟	97.7	98.5	96.9	95.6	99.2

延べ入院患者数

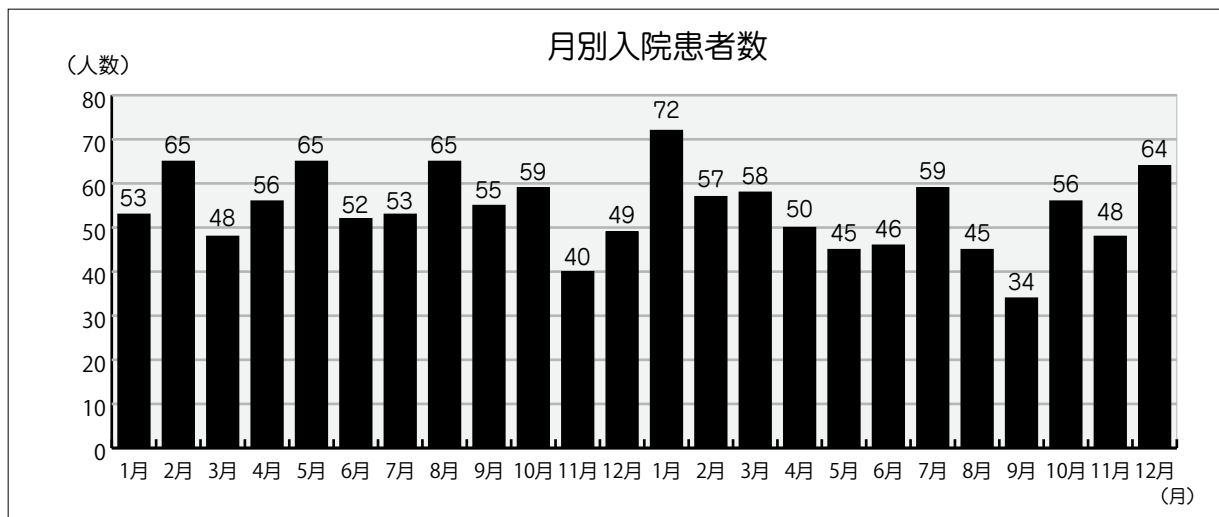
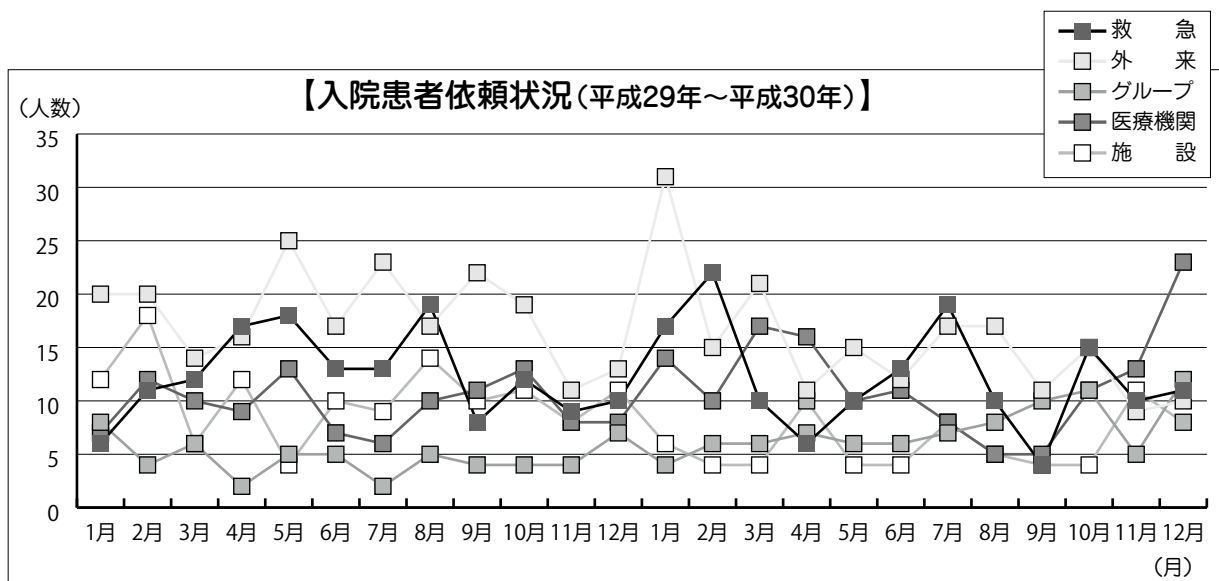
病床数	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
51	13,839	13,783	13,281	14,478	14,194
33	11,767	11,859	11,672	11,512	11,951



### 【入院患者内訳】

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
総患者数	621	683	611	683	633
男	287	309	271	265	263
女	334	374	340	418	370
平均年齢	74	75	75	75	76

	平成29年												平成30年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
救急	6	11	12	17	18	13	13	19	8	12	9	10	17	22	10	6	10	13	19	10	4	15	10	11
外来	20	20	14	16	25	17	23	17	22	19	11	13	31	15	21	11	15	12	17	17	11	15	9	10
グループ	8	4	6	2	5	5	2	5	4	4	4	7	4	6	6	7	6	6	7	8	10	11	5	12
医療機関	7	12	10	9	13	7	6	10	11	13	8	8	14	10	17	16	10	11	8	5	5	11	13	23
施設	12	18	6	12	4	10	9	14	10	11	8	11	6	4	4	10	4	4	8	5	4	4	11	8
合計	53	65	48	56	65	52	53	65	55	59	40	49	72	57	58	50	45	46	59	45	34	56	48	64





**【退院患者内訳】**

**<平成30年 病棟合計 退院者一覧>**

計	725	合計	比率
在宅	311	311	43%
転出(HMG)	30	85	12%
転出(その他)	55		
死去	96	96	13%
転院(HMG)	1	42	6%
転院(その他)	41		
その他	190	191	26%

	合計	比率
男性	291	40%
女性	434	60%
平均年齢	80.00	
※(90日越)		
※(転床)	115	14%

※転出…当HP→福祉施設への入所／転院…当HP→他の病院への入院  
 ※HMG…ひかりメディカルグループの略称

**<平成30年 3F病棟 退院者一覧>**

計	622	合計	比率
在宅	300	300	48%
転出(HMG)	26	73	12%
転出(その他)	47		
死去	47	47	8%
転院(HMG)	1	34	12%
転院(その他)	33		
4F転棟	103	168	17%
その他	65		22%

	合計	比率
男性	269	40%
女性	412	60%
平均年齢	76	
※(90日越)		
※(4F転棟)	76	11%

↑(リストに無い施設等)

**<平成30年 4F病棟 退院者一覧>**

計	103	合計	比率
在宅	11	11	11%
転出(HMG)	4	12	12%
転出(その他)	8		
死去	49	49	48%
転院(HMG)	0	8	8%
転院(その他)	8		
3F転棟	12	23	12%
その他	11		

	合計	比率
男性	42	41%
女性	61	59%
平均年齢	84	
※(90日越)		
※(3F転棟)	12	12%

↑(リストに無い施設等)



## 【患者様アンケート結果(平成30年)】

## ■退院時アンケート

- ① 病院のシステム、入院時の心得、準備について十分な説明を受けられましたか？
- ② 入院セット（歯ブラシ、タオル等）をお配りしましたが、ご利用いただけましたか？
- ③ 医師から病状について十分な説明がありましたか、質問には適切に答えてもらえましたか？
- ④ 検査技師・放射線技師の対応はいかがでしたか？
- ⑤ 薬剤師から服薬について十分な説明がありましたか、質問には適切に答えてもらえましたか？
- ⑥ 看護師、ケアワーカーの対応はいかがでしたか？
- ⑦ リハビリ職員の対応はいかがでしたか？
- ⑧ 受付の対応はいかがでしたか？
- ⑨ 食事の内容、量、味等はいかがでしたか？
- ⑩ 衛生面は行き届いておりましたか？

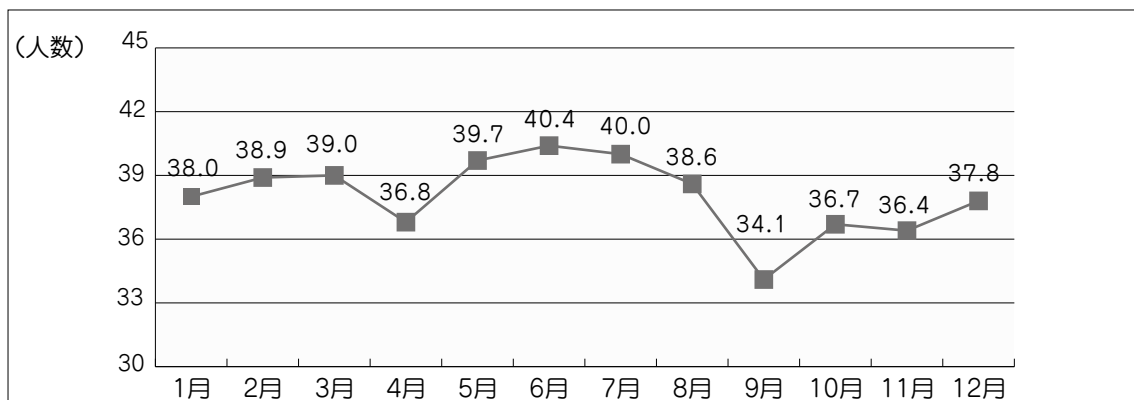
退院	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	前年比
①	3.3	3.8	4.1	4.0	4.0	4.4	4.2	3.8	3.3	3.5	3.7	3.7	45.8	3.8	0.0
②	4.2	4.0	4.0	3.5	4.0	4.1	3.6	3.9	3.7	3.8	3.8	3.6	46.2	3.9	0.0
③	3.8	4.2	4.3	4.0	4.0	4.4	4.0	4.0	3.5	3.7	3.8	3.4	47.1	3.9	0.0
④	4.0	4.2	4.1	3.8	4.0	4.3	4.0	3.8	4.0	3.8	3.6	4.0	47.6	4.0	-0.1
⑤	3.3	4.2	3.9	3.8	3.8	3.9	4.2	4.0	2.8	3.8	3.6	3.9	45.2	3.8	-0.1
⑥	4.2	3.9	4.4	3.8	4.0	4.1	4.4	4.3	4.0	4.0	3.8	4.1	49.0	4.1	0.1
⑦	4.0	3.7	3.8	3.5	3.9	4.0	4.0	3.8	3.4	3.0	3.7	3.9	44.7	3.7	-0.3
⑧	4.0	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	4.2	3.8	3.0	3.5	3.5	3.6	44.7	3.7	-0.1
⑨	3.5	3.3	3.2	3.2	3.8	3.4	4.0	3.6	3.0	3.9	3.3	3.7	41.9	3.5	-0.3
⑩	3.7	3.8	3.4	3.4	4.4	3.9	3.4	3.6	3.4	3.7	3.6	3.9	44.2	3.7	-0.2
合計	38.0	38.9	39.0	36.8	39.7	40.4	40.0	38.6	34.1	36.7	36.4	37.8	456.4	38.0	-1.1
枚数	6	7	9	6	8	7	5	10	7	12	13	7	97	8.1	0.0

※ 点数 5. 満足 4. まあまあ満足 3. 普通 2. 少し不満 1. 不満

## ■退院(平均点数推移)

年間平均 38.0点/50.0点

前年度比 -1.1





### ■外来アンケート

- ① 診察までの待ち時間はいかがでしたか？
- ② 医師との会話、または説明に満足されましたか？
- ③ 看護師の対応はいかがでしたか？
- ④ 検査技師・放射線技師の対応はいかがでしたか？
- ⑤ 薬局の対応はいかがでしたか？
- ⑥ ~~お薬を受け取るまでの時間はいかがでしたか？~~ ※院外処方化に伴い平成26年10月より  
項目⑥は削除となりました。
- ⑦ 受付の対応はいかがでしたか？
- ⑧ 会計に呼ばれるまでの時間はいかがでしたか？
- ⑨ リハビリの対応はいかがでしたか？
- ⑩ 衛生面は行き届いておりましたか？

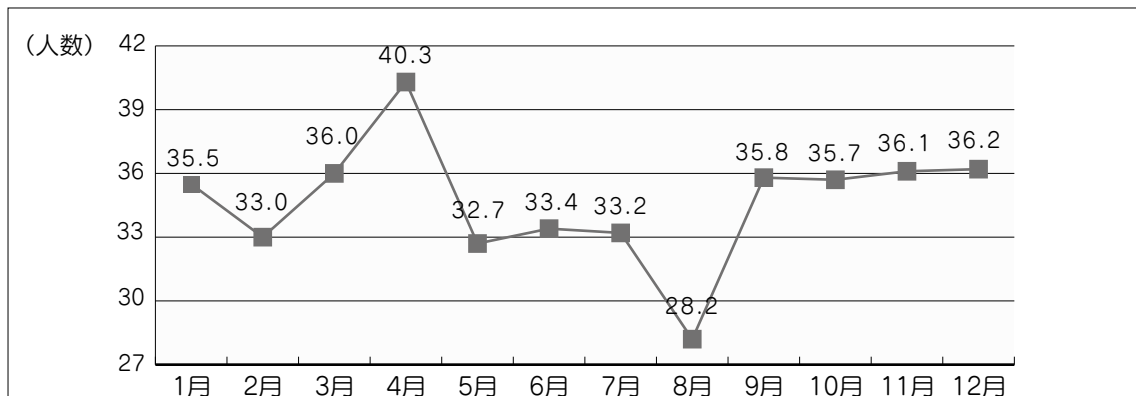
外来	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	前年比
①	3.1	3.3	3.8	4.7	3.6	4.0	3.6	3.2	3.7	4.0	4.0	4.4	45.4	3.8	0.5
②	4.0	3.3	4.5	4.7	3.5	3.8	3.6	2.8	4.1	4.5	4.6	4.4	47.8	4.0	0.4
③	4.3	4.0	4.5	4.7	4.0	4.0	3.6	2.8	4.3	4.2	4.4	4.6	49.4	4.1	0.3
④	4.0	4.0	4.3	4.3	3.4	3.4	3.4	3.0	4.0	3.4	3.6	3.3	44.1	3.7	-0.1
⑤	4.0	4.0	4.3	4.3	3.4	3.4	3.8	3.0	3.9	3.1	3.4	3.1	43.7	3.6	0.1
⑥													0.0	0.0	0.0
⑦	4.0	3.7	3.5	4.3	3.8	3.8	3.8	3.2	4.0	4.5	4.4	4.3	47.3	3.9	0.3
⑧	3.3	3.3	2.8	4.3	3.6	3.6	3.8	3.0	3.0	4.4	3.9	4.3	43.3	3.6	0.3
⑨	4.8	3.7	4.0	4.3	3.8	3.8	3.8	3.8	4.7	3.2	3.5	3.2	46.6	3.9	0.1
⑩	4.0	3.7	4.3	4.7	3.6	3.6	3.8	3.4	4.1	4.4	4.3	4.6	48.5	4.0	0.3
合計	35.5	33.0	36.0	40.3	32.7	33.4	33.2	28.2	35.8	35.7	36.1	36.2	416.1	34.7	2.2
枚数	7	3	5	3	5	5	5	5	7	53	25	14	137	11.4	0.5

※ 点数 5. 満足 4. まあまあ満足 3. 普通 2. 少し不満 1. 不満

### ■外来（平均点数推移）

年間平均 347点/50.0点

前年度比 2.2



**【救急搬送受け入れ件数】**

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
時 間 内	522	354	354	416	445
時 間 外	186	171	169	228	261
合 計 件 数	708	525	523	644	706

**【手術件数（科別）】**

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
外 科	18	9	0	1	3
整 形 外 科	25	101	82	47	15
形 成 外 科	12	8	11	2	1

**【手術件数（麻酔別）】**

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
全 身 麻 酔	4	26	20	9	0
腰 椎 麻 酔	14	65	52	39	11
局 所 麻 酔	37	27	21	11	9

**【リハビリテーション実施単位数（外来）】**

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
脳血管疾患等	2,097	1,608	1,428	953	794
運 動 器	5,315	8,539	5,828	4,554	4,522
呼 吸 器	0	38	2	0	0

**【リハビリテーション実施単位数（入院）】**

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
脳血管疾患等	6,470	3,759	3,019	1,727	1,476
運 動 器	7,920	14,080	17,336	19,118	17,926
呼 吸 器	2,435	4,083	3,261	2,115	555

**【撮影件数】**

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
C T 検 査	2,018	1,727	1,764	1,985	2,142
M R I 検 査	902	1,135	1,074	1,119	873

**【検査件数】**

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
一 般 検 査	3,355	3,359	3,618	3,936	3,419
生 化 学 検 査	4,603	4,576	4,488	4,665	4,639
血 液 検 査	5,252	5,262	5,123	5,395	5,272

**【輸血検査】**

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
交差適合試験	171	182	74	105	118
不規則抗体検査	52	56	22	33	45

**【生理検査】**

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
心 電 図	1,095	977	1,186	1,736	1,631
負 荷 心 電 図	12	9	12	15	9
ホルター心電図	10	9	11	9	7
呼吸機能検査	7	40	31	24	23
A B I	32	33	34	18	21

**【内視鏡関連検査】**

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
G I F	227	219	206	215	1,631
C F	50	41	29	33	9
ポ リ ペ ク	0	4	4	6	7
P E G	16	35	38	41	23
そ の 他	0	1	1	2	21

**【エコー検査】**

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
心 エ コ ー	275	272	282	270	264
腹 部 エ コ ー	317	384	331	312	228



## 第3章 部署年間動向

### 1. 診療部

#### 1) 平成30年の目標

##### 【上期】

- ①情報伝達の不備の解消
- ②電カルの有効活用
- ③救急件数 80 件
- ④不測の事態への対応
- ⑤より良質・安全な診療を提供する
- ⑥保険請求漏れの回避
- ⑦個人レベルの向上

##### 【下期】

- ①スムーズでスマートな診療
- ②救急件数 100 件
- ③災害時の迅速な対応
- ④より安全で良質な診療を提供

#### 2) 平成30年の動向

平成30年度当院では、本格的な電子カルテ導入により、現行の医事・看護システムからの移行作業及び、スタッフの業務内容の調整を進めてまいりました。これまでより一体的な運用が可能となり、各作業も大きく効率化し始めております。

診療部におきましても、引き続き、電子化に対する業務の問題点を随時会議などで討論し意向を固め、業務を円滑に進め、患者様の負担低減と迅速な診療に向け、努力してまいります。

平成31年は当院の二文字標語として「接遇」を掲げております。新たな技術を導入しながら、昨今、大きく変化する社会の中で、医療倫理を見失わずより良い対応を心掛け、地域貢献に努めてまいります。

#### 3) 平成30年 外部研修参加状況

平成30年 1月 6日 クラリスについて

平成30年 1月25日 内科研究会

平成30年 1月31日 TVシンポジウム

平成30年 2月21日 TVシンポジウム

平成30年 2月22日 臨床検査シリーズ

平成30年 3月 8日 医療制度におけるICTの問題点について

平成30年 3月11日 介護保険研修会

平成30年 3月15日 感染症シリーズ

平成30年 3月23日 学術講演会

平成30年 3月24日 産業医関連疾患について

平成30年 3月31日 ロコモセミナー

平成30年 5月16日 診療報酬・介護報酬同時改定を

踏まえた病院経営戦略を考える

平成30年 5月17日 褥瘡について

平成30年 5月28日 TAKECAB WEB 講演

平成30年 5月31日 TV Symposium

平成30年 5月31日 感染症シリーズ

平成30年 6月 3日 糖尿病治療薬の選択肢をひろげる

平成30年 7月22日 sleep Disorder Expert Seminar

平成30年 8月23日 在宅療養における看取り研究会

平成30年 9月18日 在宅患者100万人時代

平成30年10月28日 Eagle Forum in Tokyo

平成30年12月 8日 内科会員懇談会





## 2. 看護部 (病棟・外来・中材・オペ室)

1) 平成 30 年の目標

### ■ 3 階病棟

#### 【上期】

- ① AI 等を活用し不便を便利に  
(管理日誌、勤務表のシステム化)
- ② 電カルの有効活用
- ③ 入院率 90%以上の維持
- ④ 医療安全管理部及び院内感染対策課の創設
- ⑤ 医療・介護同時改定への対応
- ⑥ 個人の SWOT 分析

#### 【下期】

- ① 電カルの有効活用  
(電カルを活用し業務の効率化を図る)
- ② 入院率 90%の維持  
(ベッドコントロールを円滑に行う)
- ③ 医療安全管理部及び院内感染対策課の創設  
(各スタッフが役割を認識できる)
- ④ 医療・介護同時改定への対応  
(地域病床の直入院 3 名)
- ⑤ 個人の SOWT 分析

### ■ 4 階病棟

#### 【上期】

- ① AI 等を活用し不便を便利に (管理日誌、勤務表のシステム化)
- ② 電カルの有効活用
- ③ 入院率 100%以上の維持
- ④ 医療安全管理部及び院内感染対策課の創設
- ⑤ 医療・介護同時改定への対応
- ⑥ 個人の SWOT 分析

#### 【下期】

- ① 電カルの有効活用  
(電カルを活用し業務の効率化を図る)
- ② 入院率 100%の維持  
(ベッドコントロールを円滑に行う)
- ③ 医療安全管理部及び院内感染対策課の創設  
(各スタッフが役割を認識できる)
- ④ 医療介護同時改定への対応  
(在宅復帰への援助)
- ⑤ 個人の SOWT 分析

### ■ 外来・訪問看護

#### 【上期】

- ① ペッパーの業務拡大
- ② 電子カルテの有効活用  
(業務の効率化と患者の待ち時間短縮)
- ③ 外来アンケートで看護師対応 4 点以上
- ④ BCP 作成
- ⑤ 医療・介護同時改定への対応
- ⑥ 個人の SWOT 分析の実施
- ⑦ 訪問看護・診療の新規 5 件以上

#### 【下期】

- ① 往診システムの機能拡張
- ② 電子カルテ処置マスタと文書の見直しと修正
- ③ 訪問看護ステーションの立ち上げと新規契約 10 件以上



## 2) 平成 30 年の動向

看護部全体として、看護システムに引き続き、2月より準備に取り掛かり3月より、電子カルテを導入いたしました。医師からのオーダーも、ペーパーレスとなりつつあり看護業務の簡素化し、負担軽減に繋がってきております。また、外来での患者様へのあらゆる待ち時間の短縮化ともなっています。

本年度も、電子カルテが各部署のスムーズな連携にも結び付けばと考えております。

### 【外来・訪問看護】

4月より午後診廃止に伴い、看護師の業務体制、人員配置の見直しを行ってきました。

電子カルテも導入となり、少しずつ診察前後の待ち時間の軽減、検査等のオーダーの連絡がスムーズになりつつあります。11月より訪問看護ステーションを設立しました。今年度も、在宅診療も含めて地域に密着した在宅医療を目指していきます。

### 【3 階病棟】

病床稼働率 80%以上を推移しております。業務改善、電子カルテの有効活用また、各スタッフの院内・院外研修に参加を促進し、患者様へより良い看護に繋がるようにと業務を遂行しております。また、訪問診療、訪問看護と連携を取り地域に根ざした在宅医療にも力を入れていきます。

### 【4 階病棟】

近隣施設では、療養病棟が少ない中、他の医療機関より依頼を頂き平成 30 年度は年間通し約 100%の稼働率を保ってきました。当院療養後、医療機関への退院が多いところを在宅医療への繋がりを持つことができた年でもありました。本年度も、スタッフのスキルアップと接遇に対しての研修参加の向上に努め、良い看護の提供に努めていきます。

## 3) 平成 30 年 外部研修参加状況

平成30年 2月 15日 淀川南感染防止対策地域連携合同カンファ	平成30年 7月 21日 褥瘡予防・治療におけるシームレスケア
平成30年 2月 16日 認知症高齢者の看護実践	平成30年 7月 28日 説明できるエンゼルケア
平成30年 2月 27日 診療報酬改定戦略セミナー	平成30年 8月 9日 淀川南感染防止対策地域連携合同カンファ
平成30年 3月 22日 感染対策セミナー	平成30年 8月 25日 看取る心 看取る言葉
平成30年 4月 13日 介護スタッフの育成方法	平成30年 8月 26日 18'重症、医療・看護必要度評価者
平成30年 4月 28日 エンゼルケア哲学	平成30年 9月 22日 死の関わりから何を学ぶ
平成30年 5月 16日 淀川南感染防止対策地域連携合同カンファ	平成30年 11月 7日 淀川南感染防止対策地域連携合同カンファ
平成30年 5月 26日 エンゼルケアの手順と技術	平成30年 11月 21日 医療安全に関するセミナーの開催について
平成30年 6月 9日 質の高い骨粗鬆症診療をめざして	平成30年 12月 1日 循環アセスメントの基本
平成30年 6月 23日 エンゼルメイクの手順と技術	平成30年 12月 4日 心電図セミナー
平成30年 7月 8日 医療機器安全基礎講習	平成30年 12月 11日 結核に関する基礎臨床及び対策
平成30年 7月 13日 身体拘束・虐待を防ぐケア	平成30年 12月 15日 ガン領域における看護ケアとリハビリテーション
平成30年 7月 13日 業務環境を通して働きやすい環境を創る	



### 3. 薬 局

#### 1) 平成 30 年の目標

##### 【上期】

①調剤・医薬品情報・在庫管理業務の各種にデータベースシステムを完成する。

②電カルに薬剤管理指導記録簿フォームを構築する。完成。

③薬剤管理指導件数を、上半期平均月 190 件達成。

④薬局アレンジ BCP の策定。

⑤医療安全管理部・院内感染対策への薬剤師参加

⑥後発医薬品使用体制加算の調整、および税込対薬

価率 85%の維持。

⑦個人 SWOT クロス分析を策定、クニニカルラダー自己目標設定をを確定。

##### 【下期】

①医薬品情報・在庫管理業務のデータベースシステムを 3 点

②調剤業務（ENT 処方予測・疑義照会減・指示切れ減）の 3 点課題のスムーズ化。

③服薬指導に係る 3 点の、QI(QualityIndicator)

スコアを作成。

④ BCP 改訂を完了。

⑤薬価改定後の、税込対薬価率 85%維持。

⑥クニニカルラダー自己目標達成をスタッフ全員 90% 以上達成。

#### 2) 平成 30 年の動向

平成 30 年は、後発医薬品使用体制を調整して薬剤費の負担軽減を行ってまいりました。

また、薬剤情報提供についてもデータベースを作り、臨床できめ細く精確な医薬品情報を提供してまいりました。

さらに薬局内で独自に BCP を作成して災害時に備えた取り組みにも積極的に関わってまいりました。

#### 3) 平成 30 年 外部研修参加状況

平成30年 1月17日 てんかん発作の症状

平成30年 2月10日 2018年度診療報酬改定と医療機関のゆくえ

平成30年 4月10日 新しいガイドラインに基づいた心うっ血性心不全治療

平成30年 5月16日 診療報酬・介護報酬同時改定を踏まえた病院経営戦略

平成30年 6月15日 逆流性食道炎Up to date

平成30年10月25日 OTC医薬品について

平成30年11月 2日 咳をどう診るか

平成30年11月14日 心房細動と腎機能のキズナとキツキ



## 4. 放射線科

### 1) 平成 30 年の目標

#### 【上期】

- ①電カルの機能拡張
- ② CT 撮影件数月 200 件以上
- ③ BCP の作成
- ④診療報酬改定への対策
- ⑤個人の SWOT 分析

#### 【下期】

- ①電カルの機能拡張
- ② CT 撮影件数月 200 件以上
- ③ MRI 撮影件数月 100 件以上
- ④個人の SWOT 分析

### 2) 平成 30 年の動向

放射線科では患者様の負担を少しでも軽減し、その地域のニーズにあった装置と画像を安定して供給できるよう、知識と技術の向上に取り組んでまいりました。

その一つに地域連携推進のため他院からの撮影依頼を積極的に受け入れ、近隣ご施設さまのお役にたてるよう努力しております。

また、29年9月にはHITACHI製の全身用マルチCT装置16列を64列全身用マルチCT装置に更新することで、更なる検査時間の短縮と被爆軽減など患者様の負担軽減に努めてまいります。

### 3) 平成 30 年 外部研修参加状況

平成30年 5月19日 日立CT・MRI User Forum

平成30年 6月17日 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー

平成30年11月10日 関西オープンMRIユーザー会

平成30年12月 1日 北河内画像勉強会



## 5. 検査科

### 1) 平成 30 年の目標

#### 【上期】

- ①電カルの有効活用
- ②月間平均検査実施点数 23 万点の維持
- ③ BCP 作成
- ④医療安全管理部及び院内感染対策課の創設
- ⑤医療保険点数改定への対応
- ⑥個人の SWOT 分析

#### 【下期】

- ①電カルの有効活用
- ②月間平均検査実施点数 23 万点の維持
- ③ BCP 作成
- ④医療安全管理部及び院内感染対策課の創設
- ⑤個人の SWOT 分析

### 2) 平成 30 年の動向

・平成 30 年度 3 月より順次電子カルテ化対応。

- ①検査情報システムと東芝オーダーリングシステムと接続。
- ②心電図記録電子保存化の為に、PACS システムとの接続計画
- ③超音波検査機器更新とレポートシステム導入
- ④心電図データの電子化保存を推進。

・腹部超音波検査精度向上の為に症例検討

病院機能評価 VER6.0,ISO9001 (2015 版) 品質規準に合致すべく検査システム・品質管理方法を点検と見直し修正して、業務整理や品質改善に取り組んで来ました。

腹部超音波検査業務も 9 年経過を経過し 30 年度は総数 228 件と着実に検査件数も伸びており病院収益に貢献しています。本年度より超音波エコー検査機器老朽化による更新と心電図保存電子化を目的とし、心電図電子化取り込みと PAC 接続準備を行いました。

心臓超音波検査については、引き続き機器準備や患者管理等の外来業務も継続実施しています。心電図記録・解析心電計については、小型化が進んだ為に患者様からの評判が良く、身体負担軽減一役かっています。去年より健診者に対して診察券発行しておりますが健診受診後の保険診療で再来院されている患者様も居られ、患者様のニーズ対応出来ていると考えられます。本年度については、目立つ新規導入検査は開始していませんが、電子カルテ化されたことにより依頼書・報告書のペーパーレス化と迅速報告が出来ました。また既存検査の精度管理維持と利便性に努めています。MRI 検査は 29 年度より引き続き MRI 実施件数は増加傾向にあり、検査精度の向上や手技技術の習熟に努め、より患者の苦痛の少ない高精度の検査を行う事を目指して業務を進めて行きます。

### 3) 平成 30 年 外部研修参加状況

- 平成30年 1月27日 免疫血清検査部門 特別講演会
- 平成30年 2月24日 基礎から考えるBNP検査の臨床応用
- 平成30年 3月17日 生理検査部門 心電図判読会
- 平成30年 4月14日 第4回 緊急検査部門定期講演会
- 平成30年 5月19日 心電図判読講座
- 平成30年 7月15日 関西TBA研究会
- 平成30年 8月20日 GE超音波クリニカルセミナー
- 平成30年 8月20日 近畿血管バイオメカニクセミナー
- 平成30年11月22日 医療安全に関するセミナー



## 6. リハビリテーション科

### 1) 平成 30 年の目標

#### 【上期】

- ①電カルの有効活用
- ②退院後当院サービスへの移行率 50%以上
- ③稼働率 85%以上の維持と定時退勤の促進
- ④通りハ予約率 80%達成と訪問リハ契約数の向上
- ⑤ BCP 作成
- ⑥スポーツ整形運営体制の構築と広報活動の強化
- ⑦医療・介護保険同時改定への対応

#### 【下期】

- ①電カルの有効活用  
(リハ電カル「タック」の有効活用)
- ②退院後当院サービスへの移行率 50%以上
- ③稼働率 85%以上の維持と定時退勤の促進  
(稼働率の把握と残業時間 5 時間未満)
- ④通りハ予約率 75%達成と訪問リハ契約数の向上
- ⑤スポーツ整形運営体制の構築と広報活動の強化
- ⑥医療・介護保険同時改定への対応

### 2) 平成 30 年の動向

医療・介護保険同時改定への対応として通所リハでの医師との連携強化促進を図り、要支援利用者のマネジメント加算の取得を実施しました。

リハビリテーション科では患者様、利用者様へのリハビリテーションの質の向上を目指し、外部講習会に積極的に参加し、1 名は認定理学療法士を取得しました。稼働率を下げないように数値目標を設定し効率的に業務を行える様に稼働率 85%以上を目指し、入院された患者様が継続してリハビリを行えるよう退院後のサービス移行率を明確にしました。

スポーツ整形では広報活動として市学校教員向けの講習会へ講師として参加し、摂南大学健康フェアへの参加も行いました。介護分野では昨年同様、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションの利用者増加を目指し、質の向上を図るとともに他事業所へのあいさつ回りなど広報活動を実施し、新規契約数平均 3 件 / 月となり、訪問リハでは 20 件を超える契約数となりました。

### 3) 平成 30 年 外部研修参加状況

平成30年 1月 7日 1月塾~これでいいのか理学療法~	平成30年10月13日 京都市市理学療法士会勉強会
平成30年 1月20日 スポーツ傷害	平成30年10月21日 体幹機能評価
平成30年 3月24・25日 関西理学療法学会 一泊研修会	平成30年10月28日 肩関節の機能解剖と理学療法
平成30年 6月16日 金沢大学浅井研究室 合同カンファレンス	平成30年11月18日 ビデオでみる動作分析
平成30年 7月 1日 大阪府理学療法学会	平成30年12月 9日 関西理学療法学会
平成30年 7月 8日 スポーツと股関節疾患研修会、管理者研修	平成30年12月16日 日本基礎理学療法学会
平成30年 7月22日 スポーツ理学療法研修会	
平成30年 7月29日 予防理学療法研修会	
平成30年 8月25日 認定理学療法士スポーツ必須研修	
平成30年 8月26日 徒手理学療法主催研修会、運動学習セミナー	
平成30年 9月17日 機器解析セミナー	
平成30年 9月29日 日本支援工学理学療法学会	



## 7. 栄 養 科

### 1) 平成 30 年の目標

#### 【上期】

- ①電カルの有効活用
- ②栄養科の数値目標設定  
(嗜好調査の全体平均点を前回より 0.1 点上げる)  
(1 人 1 日あたりの給食費を前月より 3%減らす)
- ③ BCP 作成
- ④個人の SWOT 分析

#### 【下期】

- ①クックチルのスムーズな運用
- ②電カルの有効活用  
(栄養ソフト EIBUN との連携)
- ③栄養科の数値目標設定  
(嗜好調査の全体平均点を前回より 0.1 点上げる)
- ④栄養科の数値目標設定  
(栄養指導件数を 10 件 / 月以上維持する)
- ⑤ BCP 作成

### 2) 平成 30 年の動向

平成 30 年度は「日本人の食事摂取基準」や入院患者様を対象とした食事アンケートをもとに、院内食事基準を見直しました。主に主食量や病態別の細かい食事内容を変更しました。

また 3 月に電子カルテ化され、これまで紙媒体だった栄養指導依頼書、栄養管理計画書が電子となり業務がより効率的に行えるようになりました。栄養ソフトとも連携しましたので、今後さらなる効率アップに向けて取り組んでまいります。

### 3) 平成 30 年 外部研修参加状況

- 平成30年 2月15日 危機管理マニュアルについて
- 平成30年 2月21日 日本料理の料理セミナー
- 平成30年 3月28日 がんの栄養管理について
- 平成30年 4月19日 非常時マニュアルについて
- 平成30年 5月29日 心の声を聴くコーチング
- 平成30年 6月 2日 歯の健康展「生活習慣病予防のための減塩」
- 平成30年 6月13日 乳酸菌の働きや効果について (ヤクルト工場見学)
- 平成30年 6月26日 食中毒予防講習会
- 平成30年 7月27日 関西医大病院厨房見学
- 平成30年 8月16日 NSTの取り組みについて
- 平成30年 8月24日 医療安全管理について
- 平成30年10月12日 摂食嚥下障害患者への取り組みについて
- 平成30年12月20日 食中毒マニュアルについて

## 8. 医 事 課

### 1) 平成 30 年の目標

#### 【上期】

- ① AI 等を活用し不便を便利に
- ② 電カルの有効活用
- ③ 各部署独自の数値目標設定  
(会計の待ち時間を 10 分以内)(入院率 90%の維持)
- ④ BCP (事業継続計画) 作成
- ⑤ 医療・介護同時改定への対応
- ⑥ 個人の SWOT 分析

#### 【下期】

- ① AI 等を活用し不便を便利に
- ② 電カルの有効活用 (医事へのスムーズな取り込み。  
レセプトへの正確な反映)
- ③ 各部署独自の数値目標設定  
(会計の待ち時間を 5 分以内)
- ④ 各部署独自の数値目標設定
- ⑤ BCP (事業継続計画) 作成
- ⑥ 医療・介護同時改定への対応  
(減点・返戻の減少)

### 2) 平成 30 年の動向

平成 30 年 3 月より電子カルテを導入しました。電子カルテの導入により医事会計システムと繋がりました。スムーズな会計入力により待ち時間の短縮が実現しました。

平成 30 年 4 月の診療報酬改定により算定項目の変更もありました。今後も正確な算定をできるよう診療報酬の研鑽に努めていきます。

### 3) 平成 30 年 外部研修参加状況

平成30年 4月 診療報酬改定勉強会

平成30年 6月 在宅診療報酬海底勉強会





## 9. ケアプラセンター

### 1) 平成30年の目標

#### 【上期】

- ①パソコンを活用し BCP を作成する
- ②病院と連携を図る
- ③年間を通して利用者件数 100 件
- ④法令順守した業務を行う
- ⑤医療・介護同時改定の対応
- ⑥個人の SWOT 分析を行う

#### 【下期】

- ①パソコンを活用し BCP を作成する
- ②年間を通して 110 件を目標とする
- ③法令に基づきマネジメント業務を行う
- ④医療・介護同時改定への対応
- ⑤個人の SWOT 分析

### 2) 平成30年の動向

#### ①院内での取り組み

地域包括ケアシステムの推進が求められる中で、医療機関と居宅介護支援事業所の連携促進を図れるよう、改正内容で必要な情報提供を行いました。また、患者（利用者）様に対し介護保険の説明や代行申請などを行い、安心して在宅生活が行えるよう支援いたしました。

#### ②院外での取り組み

寝屋川市のモデル事業（総合事業）の取り組みを要支援者全員に説明を行い、2 名の方が参加されました。地域包括支援センターや高齢介護室、保護課などの行政と適切な報告・連絡・相談を重ね、法令遵守に基づいた支援を行うよう努めました。

### 3) 平成30年 外部研修参加状況

- 平成30年 1月18日 寝屋川防災施策の概要及び医療・福祉の連携
- 平成30年 3月15日 症例から学ぶ認知症の診断と治療
- 平成30年 7月11日 ニーズを正しく把握するために
- 平成30年 7月17日 アルコール依存の方の支援について
- 平成30年 7月19日 介護保険改正によるリハビリに関する改正について
- 平成30年 8月21日 医療との連携について
- 平成30年 9月28日 モデル事業を通じた報告会
- 平成30年10月24日 高齢者と障がい者との同一世帯の支援について
- 平成30年11月14日 認知症初期集中支援
- 平成30年11月22日 医療と介護の相互理解を深める
- 平成30年12月12日 西域圏域ネットワーク会議



## 10. ヘルパーステーション

### 1) 平成 30 年の目標

#### 【上期】

- ①契約者数 45 人
- ②訪問件数 440 件
- ③ BCP 作成
- ④個人の SWOT 分析

#### 【下期】

- ①身体介護中心の支援
- ②訪問件数 380 件
- ③ BCP 作成
- ④医療・介護同時改訂への対応

### 2) 平成 30 年の動向

平成 30 年は、全要支援認定の方が市の事業である総合支援事業に移行となりました。

また、職員の人員変動もあり、これまで以上に、他事業所や登録ヘルパーとの連携に重点を置き、ご利用者が安心した在宅生活を送れるよう努めました。

今年度も、外部研修への参加や月 1 度の事業所内研修で、ヘルパーとしてのスキルアップをし、より良い事業所へと発展していける様取り組んでいきます。

### 3) 平成 30 年 外部研修参加状況

平成30年 1月24日 通所型サービス（短期入所）について

平成30年 1月30日 認知症について

平成30年 2月22日 口腔ケアについて

平成30年 3月 8日 認知症サポーター研修

平成30年 3月15日 地域支援事業について

平成30年 3月20日 民生委員との交流会



## 第4章 アクセス方法および院内図

### 1. アクセス

**交通案内**

★京阪「寝屋川市」駅下車 車6分 寝屋川消防署前  
 ★旧国道1号線 交差点「石津元町」より 車3分  
 ★「寝屋川市」駅より、京阪バス「太間口」方面行き「石津元町」下車すぐ  
 ★タウンくる「石津南町」下車 徒歩5分

※ 駐車場は、利用料が 100 円かかります。



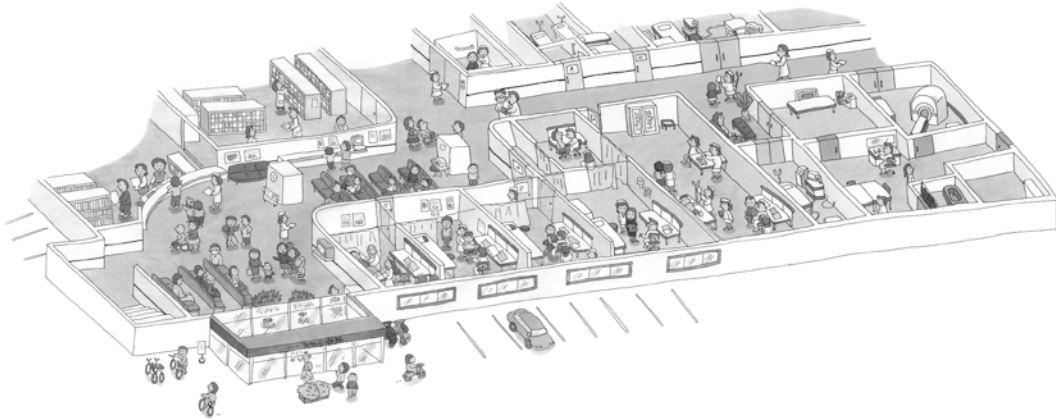


## 2. 院内図

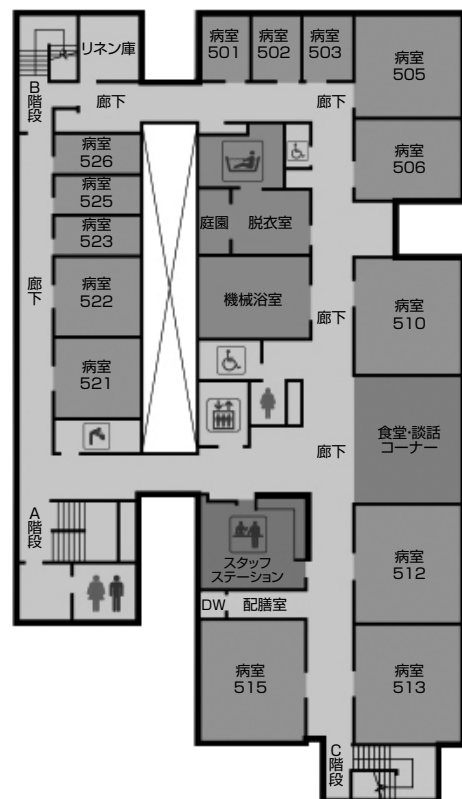


- 1F**
- 会計・受付
  - 診察室
  - 薬局
  - CT室
  - X-TV室
  - 点滴室
  - 検査室
  - 胃カメラ室
  - 待合・ホール
  - 救急処置室
  - 厨房
  - MRI
  - 薬品庫
  - 生理検査室

- 2F**
- 機能回復訓練室
  - 医局
  - 手術室
  - 会議室
  - リハビリテーション室



院内1階フロアイメージ



### 3F

- スタッフステーション
- 特殊浴室・一般浴室
- 病室(301~313)
- 病室(315~323)

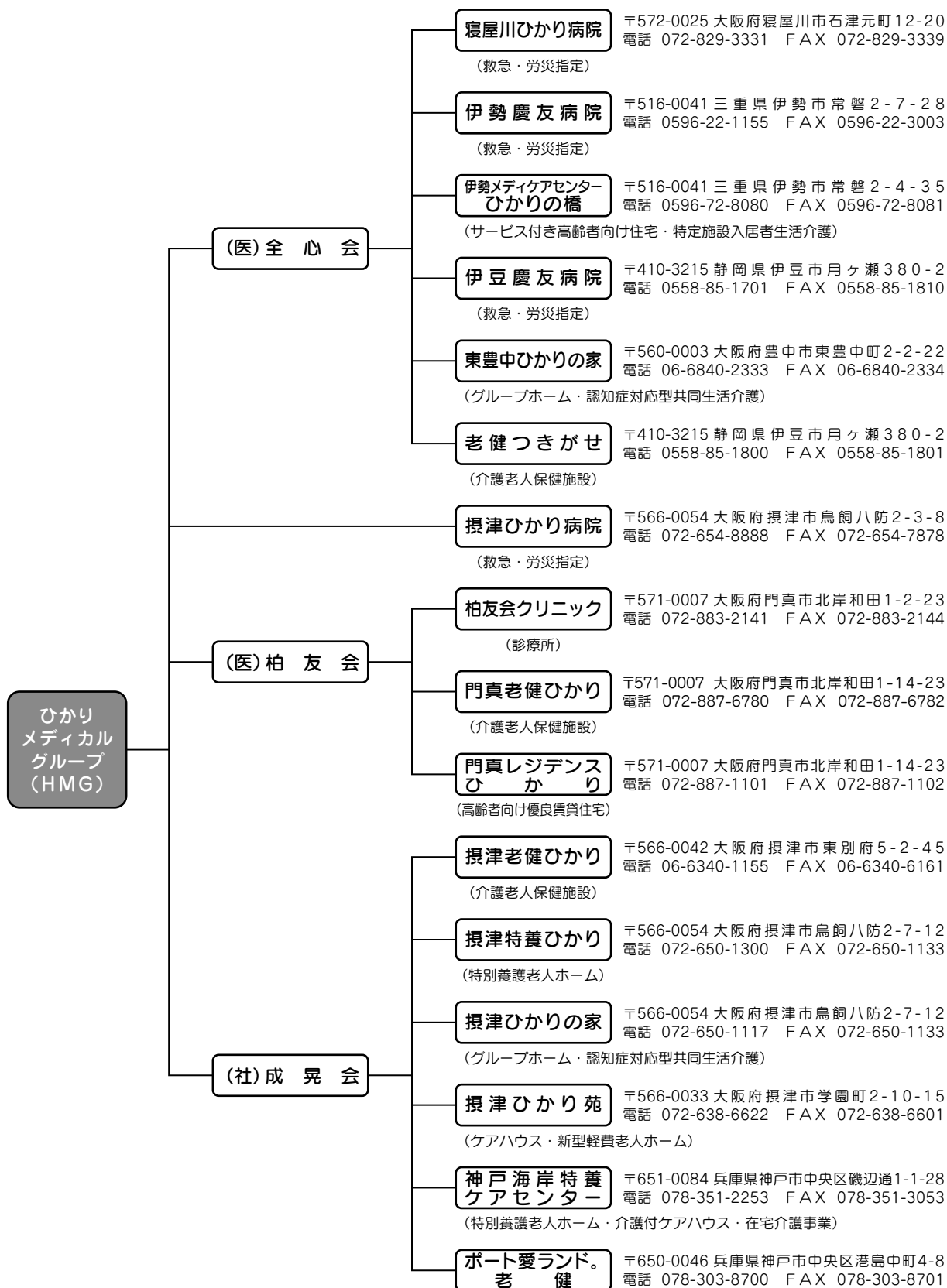
### 4F

- スタッフステーション
- 食堂・談話コーナー
- 病室(501~326)



# ひかりメディカルグループ

## Hikari Medical Group





## 編 集 後 記

今年も病院年報を無事発刊することができました。皆様方の並々ならぬご支援とご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

平成 30 年に当院では、以前から検討していた電子カルテ導入を行いました。これまでより部署間の連絡が円滑となり、紙媒体の使用を削減するなど、各作業も効率化が進んでおります。

11 月には寝屋川ひかり訪問看護ステーションを開設いたしました。寝屋川市全域はもちろん、隣接する市の一部に及ぶまで、患者様のご自宅をはじめ、様々な施設などに訪問させていただきます。これからの在宅での療養を推進する時代においても柔軟な対応が出来るよう努力していききたいと思います。

また、本年は当院においての二文字標語「接遇」を心掛け、より丁寧な対応や寄り添う姿勢を大切に職員一同業務にあたり患者様とのコミュニケーションの向上に努めていきたいと思っております。

地域連携には、たくさんの方の協力が不可欠です。院内各部門はもちろん、他病院・他施設様ともご協力頂きながら、地域の皆さまお一人お一人のニーズに応じていければ幸いですと考えております。

寝屋川ひかり病院 IT・広報委員会



### 寝屋川ひかり在宅センター

#### ◎寝屋川ひかりケアプランセンター（事業所番号 2770302913）

住所 〒 572-0025 大阪府寝屋川市石津元町 12-12 ヒルズシティ寝屋川 102  
TEL (072) 812-2081  
FAX (072) 812-2083

#### ◎寝屋川ひかり訪問看護ステーション（事業所番号 2760390423）

住所 〒 572-0025 大阪府寝屋川市石津元町 12-12 ヒルズシティ寝屋川 102  
TEL (072) 829-3351  
FAX (072) 812-2083

### 寝屋川ひかり病院（事業所番号 2710305430）

住所 〒 572-0025 大阪府寝屋川市石津元町 12 - 20  
TEL (072) 829-3331  
FAX (072) 829-3339  
フリーダイヤル 0120-29-3336  
ホームページ <http://www.neyagawahp.com/>



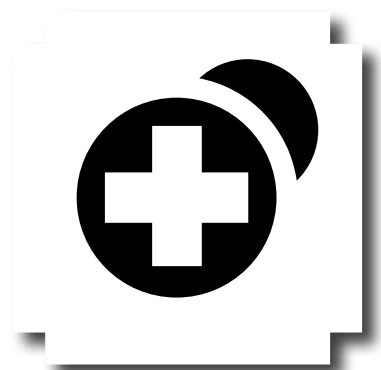
※ 在宅医療（訪問診療・訪問看護・訪問リハ）、通所リハもあります



## 「ひかり」とロゴマークの由来

「ひかり」の名称には、二つの意味が込められています。  
一つは、地域に医療のひかりを、という願い。もう一つは、太陽と月のひかりを表し、昼も夜も24時間受け入れ体制を整えていることです。

ひかり病院の共通のマークは、この太陽と月をイメージしたものです。



# HMG

～ ひかりメディカルグループ ～

<http://www.hikari.or.jp/>



## 年報 第10号

令和元年5月吉日発行

---

編集・発行 医療法人全心会 寝屋川ひかり病院

---



〒572-0025 大阪府寝屋川市石津元町12-20

Tel 072-829-3331 Fax 072-829-3339

<http://www.hikari.or.jp/hospital/neyagawa/>